科目区分	教員氏名	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
1.基盤教育科目	飯島葉月	ASL203-y71	マレー語	<p>【目的】 マレーシアをはじめとしたマレー語圏への留学に向けて、はじめてマレー語を学ぶ学生や、あらためてマレー語を基礎から学びたい学生を対象に、マレー語やマレー語圏の文化や社会等をゼロから学び・親しむことを目的とする。</p> <p>【概要】 テキスト『はじめてのマレーシア語』を中心として、マレー語の基礎文法から基本的な語彙やフレーズを学んでいく。ただ教科書に沿うだけでなく、教科書から派生してマレーシアをはじめとしたマレー語圏の文化や社会等への理解も深めていく。</p>	1
1.基盤教育科目	伊藤創	GLS105-Y51	日本事情	<p>本講義では、政治、社会、文化、歴史、宗教、生活習慣、社会問題など様々な側面から、日本を捉えることによって、日本への理解を深めることを目的とする。また、その過程で、今後、日本が、あるいは世界がどのような方向に進んでいくべきかを議論し、論理的かつ柔軟な思考を養う。本授業では、時事的な問題を取り込むこと、また留学生の国籍や人数によって、比較すべき項目を柔軟にシフトしながら授業で扱う項目を変更しつつ行っていくので、本シラバスに記載されていない日本の側面を扱うこともある。</p>	2
1.基盤教育科目	岡本久	CMP203-Y01	ICT活用B	<p>この科目ではプレゼンテーションやWeb発信において、より高度な能力を身につけることを目的としています。特に写真や画像・音声や映像などの編集、HTMLやCSSなどのWeb発信の基本の理解を通し、よりクオリティの高いコンテンツ制作の能力を育成します。</p>	2

1.基盤教育科目	北村浩二	CRE202-M53	仕事とキャリア形成Ⅱ	<p>■概要 本講義では、実際に社会人として企業や団体等で業務を遂行する上で、当然必要とされるであろう基礎的な能力を振り返る。</p> <p>1 自己分析と自己PR 「仕事とキャリア形成Ⅰ」を振り返り、就職活動において求められる自己PRのプレゼンテーションを行うことができる。</p> <p>2.履歴書とエントリーシート作成することができる。 就職活動において必要な履歴書とエントリーシートを作成する。</p> <p>3. 基礎学力の確認 就職活動においては、時にSPI等の基礎学力検査によって、社会人として最低限の思考力、一般教養等が問われる。この種の学力検査については、出題傾向を事前に研究し、試験の形式に慣れることで対処可能な部分も多い。非言語スコアをアップさせる。</p> <p>尚、この授業はSDGs 8のゴール、「包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生涯的な雇用と働き甲斐のある人間らしい（ディーセントワーク）を促進する」に関連しています。</p>	2
1.基盤教育科目	百濟正和	FLE208-A71	実用英語B	<p>コロナによる中断はあったものの、訪日旅行者が戻ってきており、日本国内の様々な観光地では、外国人観光客を目にすることが多くなってきた。</p> <p>私たちが日常生活で英語を使う可能性が高いのは、外国人観光客に対してである。この授業では、日本国内の観光地を英語で説明する教科書を用い、知識を得るのはもちろん、英語で日本の歴史や文化を説明できるようにすることを目的とする。また、「読む、聞く、話す」は教科書を用いて、「書く」は演習形式にて実践し、バランスよく英語を習得できるようにする。</p>	2

1.基盤教育科目	百濟正和	CRE202-M54	仕事とキャリア形成Ⅱ	<p>■概要</p> <p>本講義では、実際に社会人として企業や団体等で業務を遂行する上で、当然必要とされるであろう基礎的な能力を振り返る。</p> <p>1 自己分析と自己PR 「仕事とキャリア形成Ⅰ」を振り返り、就職活動において求められる自己PRのプレゼンテーションを行うことができる。</p> <p>2.履歴書とエントリーシート作成することができる。 就職活動において必要な履歴書とエントリーシートを作成する。</p> <p>3. 基礎学力の確認 就職活動においては、時にSPI等の基礎学力検査によって、社会人として最低限の思考力、一般教養等が問われる。この種の学力検査については、出題傾向を事前に研究し、試験の形式に慣れることで対処可能な部分も多い。非言語スコアをアップさせる。</p> <p>尚、この授業はSDGs 8のゴール、「包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生涯的な雇用と働き甲斐のある人間らしい（ディーセントワーク）を促進する」に関連しています。</p>	2
1.基盤教育科目	道免逸子	RSM101-Y51	災害と安全	<p>この授業の目的は、災害について、一人の被災者から、地域、国、地球全体への影響を考え、また、発災直後から中長期までの影響を多角的に捉え、安全を確立するための知恵と力を持つ人になることである。</p> <p>概要は以下のようなものである。災害の種類、種類別の対応、災害の基礎知識について学び、実際に身の回りでどのようなことが起きるのか、シミュレーションすることで、生きる力を身に着ける。また、災害を心理面、身体面、社会面から考察し、防災、減災について学び、自助力の向上を目指す。災害に関する精神、心理的課題に焦点をあてる災害心理学に対し、この授業では、災害について広く全般的に学ぶ。</p>	2

1.基盤教育科目	本田あけみ	CRE202-A52	仕事とキャリア形成Ⅱ	<p>■概要</p> <p>本講義では、「仕事とキャリア形成Ⅰ」でのワークを元に、希望する企業への就職活動において必要とされる社会人としての最低限の基礎学力、思考力、一般教養の確認を行うとともに、企業での面接を踏まえた自己PRのプレゼンテーションなどを修得することを目的とする。</p> <p>1 自己分析と自己PR</p> <p>「仕事とキャリア形成Ⅰ」で作成した自己PRのプレゼンテーションをバージョンアップし、希望する企業での動画面接にも対応できるようにする。</p> <p>2.履歴書とエントリーシート作成することができる。</p> <p>就職活動において必要な履歴書とエントリーシートを作成する。</p> <p>3. 基礎学力の確認</p> <p>kuisドリル、SPI、一般常識問題等をこなすことで、企業での筆記試験に対応できるように準備する。</p> <p>尚、この授業はSDGs 8のゴール、「包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生涯的な雇用と働き甲斐のある人間らしい（ディーセントワーク）を促進する」に関連している。</p>	2
1.基盤教育科目	村田昌彦	GLB302-M51	国際防災協力	<p>大災害発生時には、海外からの被災地支援が必要となる。</p> <p>本授業では、国際的な災害支援の枠組みやシステム、さらに、わが国の具体的な国際支援や受援の実績などについて、実際に国際防災協力関係の仕事を行っている実務家を授業に呼び、実体験に基づく話を聞き、国際防災協力について体系的に学ぶ。</p>	2
1.基盤教育科目	村田昌彦	RSM102-M01	地域防災減災論	<p>本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。</p> <p>さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す</p> <p><防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料（合計12,000円）の一部は、協力企業からの寄付金により補填され、自己負担金は4,000円。自己負担金は、指定する期日(授業開始前)に必要な書類に添えて納入すること。なお、試験に不合格でも返金はしません></p>	2
1.基盤教育科目	横山雅彦	FLE106-Y01	英語Ⅰ	<p>いわゆる学校文法を整理し、さらにそのスピーキングでの運用能力を養成する。</p>	4

1.基盤教育科目	横山雅彦	FLE113-Y51	総合英語 II	<p>ダイアログのロールプレイングと音読・暗唱、およびパターン・プラクティスによるドリルを通して、英語スピーキングの際に強力な武器となる次のような「フレーズ」を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「かたまりの表現」として使えるようになっておくべき表現 一般的な文法ルールからはずれた表現 補足的な文法項目を用いた表現 表現の幅を広げるための表現 会話のいきいきとしたフロー（流れ）の中で身につけるべき表現 	2
1.基盤教育科目 単位数合計					25
2.保健医療学部看護学科	有本梨花	SMN401-M27	卒業研究	<p>看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すとともに、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。</p> <p>学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、国際看護分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。</p> <p>本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	岩下真由美	SMN401-M22	卒業研究	<p>【目的】</p> <p>看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけること。</p> <p>【概要】</p> <p>学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性・がん、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。</p> <p>本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図り、疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。</p>	4

2.保健医療学部看護学科	梅田智子	SMN401-M34	卒業研究	<p>看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。</p> <p>学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。</p> <p>本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き一連の研究プロセスを学ぶ。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	榎田恵子	SMN401-M23	卒業研究	<p>【概要】 看護研究の目的と必要性を理解し、研究に関する基礎的な知識・方法を習得する。看護研究の意義、文献検索方法、研究計画書の作成方法、調査方法について学修する。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	蛭子真澄	SMN401-M11	卒業研究	<p>看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。</p> <p>学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。</p> <p>本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	黒川麻里	SMN401-M35	卒業研究	<p>看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。</p> <p>学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。</p> <p>本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。</p>	4

2.保健医療学部看護学科	櫻井信人	NAH206-M01	精神健康看護学概論	<p>【目的】 本授業では、精神の健康の概念、精神保健福祉法、精神疾患や精神科医療の現状を理解し、精神看護の実践に向けた基礎的知識を習得することを目的としている。</p> <p>【概要】 精神看護学Ⅰの教科書を中心に講義を進める。途中、知識の確認として中間テストを実施する。また「こころ」をテーマとしたグループワークと発表を行う。15回中6回はオンデマンドを用いて実施し、毎回知識の確認テストおよび授業ノートの記載を求める。</p>	2
2.保健医療学部看護学科	齋藤いずみ	NAD403-M01	看護研究方法	<p>【概要】 看護研究の目的と必要性を理解し、研究に関する基礎的な知識・方法を習得する。看護研究の意義、文献検索方法、研究計画書の作成方法、調査方法について学修する。</p>	2
2.保健医療学部看護学科	白石夕起子	SMN401-M28	卒業研究	<p>【目的】 看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけること。</p> <p>【概要】 学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性・がん、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。</p> <p>本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図り、疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	志保田幸子	SMN401-M30	卒業研究	<p>看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。</p> <p>学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。</p> <p>本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。</p>	4

2.保健医療学部看護学科	高見沢恵美子	NAH101-M51	成人健康看護学概論	<p>【目的】対象への看護に有用な概念および理論について学ぶことを目的とする。</p> <p>【概要】看護専門職者、とくに看護師、保健師活動において対象とする成人期にある人々の身体・心理・社会的特徴、健康問題の特徴について学修を深める。この科目では、成人期にある人の健康の維持・増進や疾病からの回復を促進するための健康レベルに応じた看護実践に関わる基本概念を修得することをねらいとする。</p>	1
2.保健医療学部看護学科	高見沢恵美子	NAH205-M51	急性・慢性看護技術演習	<p>【目的】健康状態の急激な変化により生命の危機状態にある、あるいは慢性疾患や障害とともに生活している成人患者・家族の最適な健康状態の回復・維持に働きかけるための看護援助に関する知識・技術を習得することを目指す。</p> <p>【概要】周手術期に関する技術、呼吸・循環機能、代謝機能を維持促進するための看護技術およびフィジカルアセスメント技術について学修する。</p> <p>それぞれ授業で技術のロールプレイを行うため、事前に技術実施に必要な内容について課題を課します。課題については、指定された日に授業で資料を配布し説明する。課題について自己学習でレポートを作成し、授業で技術を実施し、グループメンバーからフィードバックを得る、技術に関するアクティブラーニングを行う。</p>	1
2.保健医療学部看護学科	高見沢恵美子	SMN401-M09	卒業研究	<p>【概要】看護研究の目的と必要性を理解し、研究に関する基礎的な知識・方法を習得する。看護研究の意義、文献検索方法、研究計画書の作成方法、調査方法について学修する。</p> <p>【学修目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.看護研究の意義、プロセスを説明できる。 2.基礎的な文献検索方法がわかり、実施できる。 3.看護研究で用いられる方法を凡そ理解できる。 4.研究計画書の作成の意義と方法を説明できる。 5.研究疑問を文章化し、研究目的、研究課題(仮) 作成を試みる。 	4

2.保健医療学部看護学科	中世古恵美	SMN401-M19	卒業研究	<p>看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すとともに、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。</p> <p>学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。</p> <p>本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	原本久美子	NCH216-M51	老年看護援助論	<p>【授業目的】 老年期における心身の変化や特有の疾患・症状について理解し、高齢者とその家族に対する基本的な看護援助の知識・技術の習得をねらいとする</p> <p>【概要】 高齢者の日常生活、おおび加齢に伴う症状や徴候のアセスメントの方法、加齢と疾病に伴う生活機能の変化と、喪失した生活機能の再構築と適応に向けての看護援助の方法について学習するとともに、脳梗塞の高齢者の紙上事例を用いて看護過程を展開する</p> <p>【対応する学科の教育目標】</p> <p>人間についての幅広い専門知識を用いて対象者を多方面に捉え、論理的思考に基づいて、看護問題・課題を考えることができる。</p>	2
2.保健医療学部看護学科	原本久美子	SMN401-M17	卒業研究	<p>【目的】 看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。</p> <p>【概要】 学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。</p> <p>本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	畑吉節未	CNP307-M01	在宅看護学実習Ⅱ	<p>【実習目的】</p> <p>在宅看護学では、在宅ケア・看護の特徴と在宅療養者および家族について学習し、さらに在宅における看護実践について学習をすすめてきました。本実習では、在宅ケアの対象者やケアチームのメンバーに直接的に関わることを通じて、在宅ケアの対象者について理解を深めると共に、在宅での看護実践から地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の果たす役割と継続看護の必要性について、考察を深めることをねらいとします。</p>	1

2.保健医療学部看護学科	畑吉節未	NCH217-M01	在宅看護学概論	<p>【目的】 この科目の目的は、地域の人々の尊厳と権利を守り、生活と健康を支援するための地域・在宅看護の基本的な理念や機能を修得することである。 さらに、地域全体を支える看護やケアのしくみを理解するとともに、地域で暮らす人々とその家族に看護を提供する際に必要な支援の基本とその根拠を修得することである。</p> <p>【概要】 ・個性が高く、総合的な看護が求められる「地域・在宅看護」の特徴、地域・在宅看護に求められる専門性、多職種との連携を含め活動を支える社会システムの中で看護が担う役割と課題を学びます。 ・具体的には、地域での生活と健康を支えるために多様な機関から提供されているケアの概観を踏まえた上で、地域・在宅看護の機能、対象、理念、地域における看護実践の変遷や基本倫理を理解する。 ・地域・在宅看護に関する制度や地域包括ケアシステムの基礎的知識を踏まえ、地域・在宅看護実践の主要分野である訪問看護の制度と機能を理解する。さらに、家族支援の基本を学び、多職種連携を基盤としたケアマネジメントと療養移行支援を理解する。 ・在宅看護援助論科目につながるように新カリキュラムで求められる重要なテーマごとの看護の基本的能力も学びます。</p>	2
2.保健医療学部看護学科	畑吉節未	NCH218-M51	在宅看護援助論	<p>【授業の目的】 在宅看護学の対象者（あらゆる健康段階・発達段階・疾患・医療処置）に対し、求められる能力（①尊厳を守る看護②信頼関係を築く看護③意思決定を支える看護④暮らしの場における健康危機と管理の看護⑤支援体制を構築する看護）を統合的に学ぶ。</p> <p>【概要】 在宅看護における日常生活援助、医療的ケア援助における基本的なアセスメントや援助技術の具体的な展開方法を学ぶ。また、さまざまな事例から、療養者と家族、その取り巻く環境と状況に応じた在宅看護の実際を学び、既存の看護の知識を応用し、在宅看護の実践に結び付ける。</p>	2

2.保健医療学部看護学科	畑吉節未	NCH312-M01	在宅看護学実習	<p>【実習目的】 在宅看護学では、在宅ケア・看護の特徴と在宅療養者および家族について学習し、さらに在宅における看護実践について学習をすすめてきました。本実習では、在宅ケアの対象者やケアチームのメンバーに直接的に関わることを通じて、在宅ケアの対象者について理解を深めると共に、在宅での看護実践から地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の果たす役割と継続看護の必要性について、考察を深めることをねらいとします。</p>	1
2.保健医療学部看護学科	畑吉節未	SMN401-M32	卒業研究	<p>【目的】 看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。</p> <p>【概要】 学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は9実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅、国際）で構成され、学生は1領域を選択する。 本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。</p>	4

2.保健医療学部看護学科	松尾ひとみ	NAD405-M02	統合看護実習	<p>【統合看護実習の目的】</p> <p>実践看護学選択分野、助産学分野、公衆衛生看護学分野の中から1分野を選択し、これまで学習した看護の知識とスキルの統合ならびに看護観を育成するとともに、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にする。</p> <p>【統合看護実習（小児看護）の目的】</p> <p>疾病や障害をもって生活をしている子どもと家族への看護援助を行うことを通じて、これまでに学習した看護学の知識・技術・態度を統合し、看護観を育成するとともに、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にする。</p> <p>【統合看護実習の概要】</p> <p>各看護学選択分野の教育内容に適した病院、施設において、既修得の看護学の知識・技術・態度に基づき患者・利用者・集団と関わり、臨地における医療チームの一員として、場に応じた看護援助を実施する。また保健医療に関する看護活動を通して、多職種との協働における看護専門職者の役割・機能と保健医療福祉の関係やシステムについて学ぶ。【統合看護実習（小児看護）の概要】</p> <p>小児専門病院において、既習得の看護学の知識・技術・態度に基づき病気や障害をもった子どもとその家族と関わり、医療チームの一員として、看護援助を実施する。また、隣地における看護活動や障害児（者）施設における見学実習を通して、多職種との協働における看護専門職者の役割・機能と保健医療福祉の関係やシステムについて学ぶ。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	松尾ひとみ	NHF202-M51	小児看護援助論	<p>【授業の目的と概要】</p> <p>疾病と入院による子どもと家族への影響を理解するための基盤となる理論を学び、Family centered careの観点から生活者である子どもの成長発達を促進し、健康段階に応じた子どもと家族への看護の特徴を理解する。また、成人への移行を円滑にするための看護や、教育の場における子どもの看護についても展望する。</p>	2

2.保健医療学部看護学科	道中 隆	SWK306-M01	保健医療福祉行政論	<p>【目的】</p> <p>この科目は、現在の医療体制が「入院から在宅」への方向が進む中、保健・医療・福祉の分野で人々の健康生活を守り、より向上させていくため領域横断的に相互の密接な連携が不可欠です。</p> <p>保健医療分野において多様なニーズを抱える人々の生活が、社会福祉や社会保障の制度やサービスに繋がっていかねばなりません。そのため具体的な施策を通して保健医療福祉の連携のあり方と看護の役割を認識し実践力を身につけることを目的とします。</p> <p>【概要】</p> <p>看護師や保健師は住民の生活視点にたち、暮らしやすい地域づくりを具体化する活動を展開する必要があります。そのため、具体的に人々や社会が抱える様々な健康課題の解決のための社会資源を学び、調整していくための基礎的な知識を学ぶことが、将来、専門職として携わる際に有用な学修となります。</p>	2
2.保健医療学部看護学科	八木良子	SMN401-M29	卒業研究	<p>【概要】</p> <p>看護研究の目的と必要性を理解し、研究に関する基礎的な知識・方法を習得する。看護研究の意義、文献検索方法、研究計画書の作成方法、調査方法について学修する。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	横川滋章	PSY109-M01	心理学基礎	<p>本講義では、心理学的な考え方を身につけ、人の行動や心について理解し、自己理解、および他者理解を深めることをねらいとする。具体的には、「感覚」「知覚」「学習」「発達」「記憶」「人格」について取り上げ学習する。</p>	1
2.保健医療学部看護学科	吉田明莉	SMN401-M37	卒業研究	<p>看護の課題に研究的に取り組み、科学的思考・第度の育成を目指すとともに、看護研究に必要な基礎的能力を身につける。</p> <p>看護の学習の中からの疑問に基づいて文献検討をもとに研究テーマを設定し、研究計画の立案、調査、分析、卒業研究執筆までの一連の研究プロセスを学習する。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	蛭子真澄	CNP102-M71	基礎看護学実習Ⅰ（早期体験実習）	<p>早期体験学習として位置づけ、看護専門職者となるための学習の動機づけを図ることをねらいとする。</p> <p>医療施設において、病棟や外来などの看護実践の場に赴き、療養環境を把握するとともに、対象者の療養・診療の援助、自立の援助などの看護活動を見学・学習し、対象の健康ニーズと対応する看護専門職者の役割・機能について理解を深め、学習の方向性と在り方を探求し、今後の自己の学習目的を定める。</p>	1
2.保健医療学部看護学科	蛭子真澄	CNP201-M81	基礎看護学実習Ⅱ（看護援助過程）	<p>健康障害により日常生活援助を必要とする患者に対して、既習の看護学の知識・技術・態度を適用・応用し、患者を総合的に理解して、個別的な看護活動を実施するための基礎的能力を習得することを目標とする。1名の患者を受け持ち、患者と援助の人間関係を築き、安全・安楽に基づく看護過程を展開するプロセスについて学ぶ。</p>	2

2.保健医療学部看護学科	蛭子真澄	NAD405-M03	統合看護実習	<p>実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、公衆衛生看護学選択分野のうち、学生個々が関心のある1分野（実践看護学選択分野では1領域）を選択し、看護実践現場における学習を通して理論と実践の統合、ならびに看護観を育成することをねらいとする。また、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にすることをねらいとする。</p> <p>各看護学選択分野の教育内容に適した病院、施設において、既習得の看護学の知識・技術・態度に基づき患者・利用者、集団と関わり、臨地における医療チームの一員として、場に応じた看護援助を実施する。また保健医療に関する看護活動を通して、多職種との協働における看護専門職者の役割・機能と保健医療福祉の関係やシステムについて学ぶ。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	蛭子真澄	NFN101-M01	基礎看護学概論	<p>看護学のメタパラダイムである、人、健康、環境、看護に関する理解を深め、看護観の基盤を構築することをねらいとする。看護の概念、看護の歴史、主要な看護モデル・理論、生命の尊厳と人権の尊重、看護専門職者に求められる役割・機能、倫理的感受性と看護倫理について学習する。また、看護学教育の歴史的・制度的背景をふまえ、看護の質を高め、看護専門職者としてのキャリア発達を促す看護教育の在り方についても学ぶ。</p>	2
2.保健医療学部看護学科	蛭子真澄	NFN104-M51	基礎看護技術Ⅱ（治療援助）	<p>療養を支えるための診療補助行為に関わる基本的な看護技術の習得を目指す。講義、視聴覚教材の視聴、デモンストレーション見学、患者役・看護師役のロールプレイを通し、感染予防に関わる援助技術や、薬物療法に関わる援助技術等について学習する。</p>	1
2.保健医療学部看護学科	蛭子真澄	NFN106-M51	基礎看護方法論(フィジカルアセス	<p>看護の対象となる方の身体状態を把握する意義と重要性を理解し、系統的に観察・評価を行うための看護技術の習得を目指す。講義・視聴覚教材の視聴、デモンストレーション見学、患者役・看護師役のロールプレイを実施し、主に、呼吸・循環に関するアセスメント、消化器系に関するアセスメント、脳神経系に関するアセスメント、運動器系に関するアセスメント等を通して、フィジカルアセスメントの基本技術について学習する。</p>	1
2.保健医療学部看護学科	蛭子真澄	NFN107-M51	基礎看護技術Ⅰ（生活援助）	<p>あらゆる看護援助の基盤となる、安全・安楽な療養生活を支援するための看護技術の習得を目指す。講義、視聴覚教材の視聴、デモンストレーション見学、患者役・看護師役のロールプレイを実施し、主に、環境を整えるための援助、食生活や排泄を整えるための援助、清潔や衣服を整えるための援助、活動・休息に関わる援助等を通して、安全・安楽、自立を目指した看護技術を学習する。また、看護の対象となる人々との援助的人間関係の構築について探求する。</p>	2

2.保健医療学部看護学科	蛭子真澄	NFN203-M01	基礎看護技術Ⅲ（看護過程）	健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや諸問題を明らかにし、その解決に向けた確な援助を提供するための系統的思考プロセスである看護過程の意義を理解し、具体的な展開方法の習得を目指す。具体的には、紙上事例をとりあげ、看護実践上の科学的根拠として用いられる代表的な看護理論を用いて、アセスメントから評価に至る一連の看護過程展開技術を学習する。	2
2.保健医療学部看護学科	櫻井信人	NAH207-M51	精神看護援助論	精神の健康問題を抱える人々とその家族の特徴や、精神看護の役割と課題について理解を深め、精神看護の援助方法と技術に関する知識や理論の習得をねらいとする。具体的には、精神の健康問題に関する知識や、精神的健康問題をもつ患者に対するコミュニケーション技法を含む精神看護援助技術について学ぶ。	2
2.保健医療学部看護学科	高見沢恵美子	CNP301-M01	急性看護学実習	<p>【目的】</p> <p>急性期にある患者・家族が危機状況を乗り越え、治療や症状によってもたらされる心身への侵襲から速やかに回復し、セルフケア能力を発揮できるよう、急性期病棟で臨床患者への看護実践を通して急性看護学に関する援助を学修する。</p> <p>【概要】</p> <p>対象者の病態と手術による侵襲を理解し、合併症を予防し、術後変化した形態・機能の回復過程にあった療養生活に患者が主体的に取り組める援助の在り方を、看護過程を用いて学修する。</p>	3
2.保健医療学部看護学科	高見沢恵美子	NAD405-M04	統合看護実習	<p>【目的】</p> <p>実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、公衆衛生看護学選択分野のうち、学生個々が関心のある1分野（実践看護学選択分野では1領域）を選択し、看護実践現場における学習を通して理論と実践の統合、ならびに看護観を育成することをねらいとする。また、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にすることをねらいとする。</p> <p>【概要】</p> <p>各看護学選択分野の教育内容に適した病院、施設において、既習得の看護学の知識・技術・態度に基づき患者・利用者、集団と関わり、臨地における医療チームの一員として、場に応じた看護援助を実施する。また保健医療に関する看護活動を通して、多職種との協働における看護専門職者の役割・機能と保健医療福祉の関係やシステムについて学ぶ。</p>	4

2.保健医療学部看護学科	高田美子	NCH215-M01	老年健康看護学概論	<p>【目的】 この科目は、老年期を生きる人の理解を深め、その健康と暮らしを支える老年看護の基本となる知識を身につけることを目的とする。</p> <p>【概要】 高齢者の特徴を身体的、心理・精神的、社会的側面から捉え、それらが高齢者の生活にどのような影響をもたらしているのかを理解する。また、高齢者を取り巻く保健医療福祉の現状と課題を学び、超高齢社会における老年看護の役割と責務について考察する。</p>	2
2.保健医療学部看護学科	原本久美子	CNP306-M01	老年看護学実習	<p>【目的】病棟での臨地実習を通して老年期にある対象の加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴と、人生の統合期である発達課題を理解し、対象に応じた看護実践能力を養うことを目的とする。</p> <p>【概要】病院実習では、老年期という発達段階にある受け持ち患者を総合的に理解し、病態と対象者が有する資源とを結び付け、生活機能の再構築の観点からの看護過程を学ぶ。さらに、実習を通して高齢者を取り巻く保健・医療・福祉分野の多職種との連携の実際と看護の役割の理解、及び高齢者の自尊心や価値観を尊重する態度の修得と自己の老年観を養うことを目指す。学内演習では臨地実習に必要な看護技術の演習、記録用紙を用いた受け持ち患者の情報整理、アセスメント～関連図～看護計画の立案・整理と、臨地実習の学びの振り返りを行う。</p>	2
2.保健医療学部看護学科	原本久美子	NAD405-M09	統合看護実習	<p>【目的】実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、公衆衛生看護学選択分野のうち、学生個々が関心のある1分野（実践看護学選択分野では1領域）を選択し、看護実践現場における学習を通して理論と実践の統合、ならびに看護観を育成することをねらいとする。また、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にすることをねらいとする。</p> <p>【概要】各看護学選択分野の教育内容に適した病院、施設において、既習得の看護学の知識・技術・態度に基づき患者・利用者、集団と関わり、臨地における医療チームの一員として、場に応じた看護援助を実施する。また保健医療に関する看護活動を通して、多職種との協働における看護専門職者の役割・機能と保健医療福祉の関係やシステムについて学ぶ。</p>	4

2.保健医療学部看護学科	原本久美子	NCH311-M01	老年看護学実習	<p>【目的】病棟での臨地実習を通して老年期にある対象の加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴と、人生の統合期である発達課題を理解し、対象に応じた看護実践能力を養うことを目的とする。</p> <p>【概要】病院実習では、老年期という発達段階にある受け持ち患者を総合的に理解し、病態と対象者が有する資源とを結び付け、生活機能の再構築の観点からの看護過程を学ぶ。さらに、実習を通して高齢者を取り巻く保健・医療・福祉分野の多職種との連携の実際と看護の役割の理解、及び高齢者の自尊心や価値観を尊重する態度の修得と自己の老年観を養うことを目指す。学内演習では臨地実習に必要な看護技術の演習、記録用紙を用いた受け持ち患者の情報整理、アセスメント～関連図～看護計画の立案・整理と、臨地実習の学びの振り返りを行う。</p>	3
2.保健医療学部看護学科	畑吉節未	NAD405-M08	統合看護実習	<p>≪目的（全領域共通）≫ これまで学習した看護の知識とスキルの統合ならびに看護観を育成するとともに、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にする。</p> <p><目的（在宅看護学領域）> 地域包括ケアシステムにおけるチームの一員として、地域で療養している人々に対する支援のあり方を学ぶ。また、看護専門職者として、自己の看護観・課題を明らかにすることができる。</p> <p><概要（在宅看護学領域）> 地域包括ケアシステムの一員として、地域で療養している対象に必要な支援を行う。地域包括ケアシステムにおける多職種との連携と看護専門職者としての機能・役割を学ぶ。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	藤原和美	NCH301-M51	公衆衛生看護学概論	<p>【目的】 公衆衛生看護活動に必要な基本的考え方及び知識を修得することを目的とする。</p> <p>【概要】 公衆衛生行政の目的、公的支援としての保健師活動のあり方、保健医療福祉財政の仕組み、政策化の方法、保健・福祉・医療の連携について具体例を用いて理解を深める</p>	2

2.保健医療学部看護学科	藤原和美	NCH402-M01	公衆衛生看護活動展開演習	<p>【目的】 本科目は主として行政保健師として働く上で必要な知識と技術を獲得することを目的とします。</p> <p>【概要】 具体的には、保健活動におき基盤となる法律、政策、制度をまず理解し、それをもとにした保健師活動の基本的知識を学びます。また、後半は、保健師活動上必要な基本的技術の中から主として健康診査、家庭訪問、健康教育に絞って演習を実施し、実習時に個々の学生が実際に適用できるなることを目指します。 加えて、産業保健活動及び養護教諭の活動の基礎を学び産業保健実習及び学校保健実習での学びに必要な知識を獲得することを目指します。</p>	3
2.保健医療学部看護学科	藤原和美	NCH403-M01	公衆衛生看護管理論	<p>【目的】本科目は、行政保健師の行う地区診断の基本的考え方・知識・技術を習得することを目的とします。</p> <p>【概要】 本科目では保健師活動の基礎となる地域診断（コミュニティ・ヘルス・アセスメント）の理論と技術について学びます。 地区診断とは保健所及び市町村などの行政の場で働く保健師に必須の専門技術として位置付けられています。保健師として地域の健康課題を明らかにし、そのニーズにあった保健事業及び保健政策を企画する能力です。本科目ではこの地域診断の技術を獲得するために、講義と演習（個人ワーク・グループワーク）を通し、モデル地区（市町レベル）及び実際に実習を行う地区（市町レベル）について主として二次データをもとに演習を行い、地域集団の健康課題を明確にするための情報の収集方法と分析方法を学びます。尚、本科目の演習の結果は公衆衛生看護学実習の際の基礎資料となります。実習ではこれらの二次データの情報に一次データ（観察及びインタビューから得られる情報）を加え、健康課題を解決するための保健事業を企画することで、地域診断を完成させていきます。</p>	2
2.保健医療学部看護学科	藤原和美	NCH404-M01	公衆衛生看護学実習	公衆衛生看護学実習は主たる活動の場である1)保健所・市町村、2)産業保健、3)学校保健の3箇所実習を行います。この実習に統合看護実習（公衆衛生看護学分野）を合わせて、保健師として活動する上で必要な実践的知識と技術の獲得を目指します。	4
2.保健医療学部看護学科	松尾ひとみ	CNP304-M01	小児看護学実習	発達過程にある子どもと家族の健康生活を踏まえ、病気や障害が子どもと家族に及ぼす影響を理解し、必要な看護を実践できる基礎的能力を修得できる。	2
2.保健医療学部看護学科	松尾ひとみ	NHF201-M01	小児健康看護学概論	子どもを理解する上で基礎となる諸理論や、国内外の子どもの実態を以下の点から概観する。①人のライフサイクルの観点における子どもという時期の意味、②子ども親の背景となる歴史的变化・文化的な違い、③子どもを看護する上で必要な倫理観、④大人と異なる子どもの生活者としての身体機能の変化（成長）、⑤子どもの思考や心理・社会性の変化（発達）	2

2.保健医療学部看護学科	櫻井信人	CNP303-M01	精神看護学実習	<p>【精神看護学実習の目的】</p> <p>1) 精神の健康に障害のある人とその家族を対象に、その人のこれまでの人生や生活を理解した上で必要な援助を実践する。</p> <p>2) 精神の健康に障害のある人がその人らしく自立して生活するために必要なサポートシステムを理解する。</p> <p>3) 関係性を構築していく中で、自分のコミュニケーションパターンを振り返り、強みを生かしながら看護を実践する。</p> <p>【精神看護学実習の概要】</p> <p>精神科病院で実習を行なう予定である。実習では、学生は原則として1人の患者を受け持ち、これまでの講義で培った知識と技術を展開する。実習での受け持ち患者とのかかわりを振り返ることを通して、看護上の問題点や目標を抽出し、具体策を整理する。さらに、実習で体験したことをカンファレンスでの他の学生やスタッフとの意見交換を通して、広く探究する。これらの実習の場で学習したことを通して議論し、実習目標に照らして各自が学習内容を統合する。</p>	2
2.保健医療学部看護学科	櫻井信人	NAD405-M07	統合看護実習	<p>本実習の目的は、これまで学習した看護の知識とスキルの統合ならびに看護観を育成するとともに、看護専門職者としての自己キャリア開発に向けて個人の課題を明確にすることである。</p> <p>概要は、2024年度統合看護実習要項（精神看護学）を参照すること。</p>	4
2.保健医療学部看護学科	藤原和美	NCH302-M81	公衆衛生看護展開論	<p>【目的】</p> <p>発達段階の特性(母子・成人・高齢者)及び健康課題の特性(精神障がい・障がい児者・難病・感染症)に応じた行政保健師の支援方法の基本的知識を修得すること目的とする。</p> <p>【概要】</p> <p>保健活動において基盤となる発達段階の特性(母子・成人・高齢者)及び健康課題の特性(精神障がい・障がい児者・難病・感染症)に対する法律、政策、制度を理解し、それをもとにした各発達段階、健康課題に対する保健師の支援方法を学ぶ。</p>	2
2.保健医療学部看護学科 単位数合計					141

3.教育学部教育福祉学科	上原昭三	INT109-A01	コーオプ・プログラムⅡA	<p>授業の概要</p> <p>小学校の教育現場において、夏学期中（主に9月）に、各職場の通常業務を体験する。また、それに向けての事前学習および事後学習（体験の振り返り、発表など）を行う。具体的な内容は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での体験活動の目的、ねらい、内容を学びます。 ・夏学期に行う「現場体験」に向けての準備と予備知識の獲得を目指します。 ・小学校の概要と、そこでの1日の生活内容、教師としての仕事の内容を学びます ・職場体験の基礎・基本を学びます。 ・社会人としてのマナー、法令遵守、守秘義務などについての理解を深めます。 ・夏学期に行う「現場体験」に向けての準備と予備知識の獲得を目指します。 ・小学校現場での活動の振り返りを行い、課題を見出すことでそれからの学内での学びに活かします。 <p>授業の目的</p> <p>目的意識を持ち、学内での科目と関連させ小学校で職場体験を行うことにより、教員に必要な実践的能力を高めるとともに、自らの社会性や人間性を培う。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	上原昭三	PED212-A01	算数Ⅰ	<p><授業の目的></p> <p>小学生に興味深い算数指導を行うために、算数科の具体的な内容（教材）について理解を深め、必要な知識や考え方を身につけることを目的としています。</p> <p><授業の概要></p> <p>この科目では、授業の目的を達成するため、講義、演習を通して次の①～④を行います。</p> <p>①算数指導を行うという視点で、算数の内容（知識や概念）について、改めて調べたり考察したりする。</p> <p>②児童に興味を持たせ、算数授業を深めるための算数・数学に関する知識や理論について学ぶ。</p> <p>③算数で子どもが「つまずきやすい事柄」について、調べたり考察したりする。</p> <p>④児童が算数を好きになることを目指した教材を作成する。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	大西洋史	PED209-A01	図画工作Ⅰ	<p>本科目では、図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史の変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。</p> <p>その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力の形成をはかります。</p> <p>特に、「造形遊び」、「絵や立体にあらわす」領域の題材について、製作を通して指導のポイントなどの理解を深め、授業を計画実施できる能力を養います。</p>	1

3.教育学部教育福祉学科	大西洋史	PED210-A51	図画工作 II	<p>本科目では、図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史の変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。</p> <p>その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力量的の形成をはかります。</p> <p>特に、「工作にあらず」、「鑑賞」領域の題材について、製作や活動を通して指導のポイントなどの理解を深め、授業を計画実施できる能力を養います。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	大平誠也	PED205-A52	初等体育科教育法	<p>小学校における体育科の各運動領域の特性やねらいを理解し、学年や発達に応じた指導計画を作成する力を育成し、学習指導案作成を通して教材研究し、授業を創造的に展開していける力を養成する。</p> <p>その際、運動が持つ特性を理解し、児童が運動それぞれが持つ固有の楽しさに触れることができるような学習活動を展開する。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	梶正義	SED202-A51	知的障害者の自立活動の理論と実践	<p>知的障害のある幼児児童生徒が、自立と社会参加を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善しようとする力を身につけるための中心的教育活動が「自立活動」である。この講義では、特別支援教育の中核的領域であるこの自立活動について、具体的な内容と方法を学ぶとともに、個別の指導計画の作成と活用について学ぶ。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	梶正義	SED208-M01	特別支援教育基礎	<p>この講義では、特別支援教育の対象となる各種の障害の主な特性（定義・発達特性や認知特性、及びそれに伴う学習上または生活上の困難、そして、必要とする教育的ニーズなど）と共に、インクルーシブ教育の推進について解説し、学校の組織や教員等が必要とする知識やスキルを理解する。</p> <p>また、最近の教育的課題となっている通常の学級に在籍する発達障害（LD=学習障害、ADHD=注意欠如多動性障害、高機能自閉症など）や障害はないが特別な支援や配慮を要する児童生徒（来日・帰国した子ども・LGBTの子ども・経済的貧困状態にある子どもなど）についても望ましい特別支援教育の在り方を概説する。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	梶正義	SED304-A51	知的障害教育	<p>授業の前半では、まず知的障害教育について概説する。その後、知的障害のある子どもの示すさまざまな学習上の困難や行動上の問題などを知的障害の特性と環境との交互作用の視点からとらえ、さまざまな指導法による望ましい教育的支援の在り方を講義する。具体的には、なぜ子どもがそのように行動するのかを環境との交互作用から捉え、どのように観察し、どのようにアセスメントし、どのように指導していくのかについて述べる。</p> <p>授業の後半では、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」に関わり、その作成意義や手続の講義と演習を行う。具体的には、個別の指導計画に基づいた指導プログラムの試作・発表・討議などを行う。</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	梶正義	SED305-A51	肢体不自由教育	<p>肢体不自由児（者）の正しい理解と認識を深めるとともに、肢体不自由教育の実態、教育課程、指導内容・方法、自立活動、進路等について具体的な実践を学ぶこととする。肢体不自由を主とした特別支援学校及び特別支援学級での教育の中核活動である授業を中心に、「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」、並びに評価と授業改善について学習する。さらに肢体不自由教育における特徴的な指導について、身体の動き、感覚的アプローチ等の実践的理論と指導における活用を理解する。それらの学習によって基本的な知識及び技能の習得を目指し、肢体不自由のある子ども一人ひとりへの具体的な支援の手立てを考えていく。ライフステージそった様々な事象や現象について触れながら肢体不自由児の授業の進め方、指導法等を理解し、将来の進路に向けた資質向上につながるようにする。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	梶正義	SED402-A01	重複障害教育総論	<p>重複障害のある幼児児童生徒の障害の状態や特性及び発達の基礎・基本を学び、重複障害教育の実践に関する指導・支援の基本的知識と教育課程編成についての力を身につける。特に、自立活動を中心とした重複障害教育についての理解を深める。この科目では、肢体不自由、知的障害等の重度重複障害、自閉症等の重度行動障害について学ぶ。特に、重複障害のある子どもの心と行動を理解するために、発達の観点と心理学的観点を基本に置き、心理・生理・病理を解説し、教育的支援の実践的基礎を学ぶ。また、具体的なアセスメントの方策や実践的な援助の仕方を学ぶことで、現場で役立つ理論と実践を身につけ個別の指導計画の作成をする。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	川端英樹	SWK304-A51	更生保護制度	<p>【目的】 社会福祉の専門職として活動する際に必要な更生保護制度についての知識を習得するとともに、実際に展開されている更生保護の諸活動の要点・特色についても理解することを目的とします。</p> <p>【概要】 近年、更生保護制度の下で活動する社会福祉士や精神保健福祉士が増えており、また、社会福祉従事者と保護観察官や保護司などの更生保護従事者とが連携して活動する機会も増えています。</p> <p>一方、更生保護制度は、過去に非行があった少年や罪を犯した成人が、立ち直って、社会の一員として復帰することを助ける制度であり、安全・安心の社会づくりの一翼を担うものです。</p> <p>この科目では、実際に展開されている更生保護の諸活動に即しながら、社会福祉士の資格を取得しようとする学生を中心としつつも広く福祉学専攻の学生に対し、教養として知っておくべき更生保護の基礎について解説します。</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	下里里枝	INT109-A02	コーオプ・プログラムⅡA	<p>【目的】 2年次からの保育実習Ⅰや、教育保育インターンシップⅡ」に備え、職場体験の基礎・基本を学ぶ。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生生活の課題や自分の適性について考える機会とする。 ・社会人としてのマナー、法令遵守、守秘義務などについての理解をする。 ・保育現場を実際に体験することで保育者の仕事について理解をする。 ・保育現場の安心・安全について学ぶ。 	2
3.教育学部教育福祉学科	道免逸子	CLI201-A51	臨床心理学Ⅰ	この講義の目的は、学校現場にも関連のあるストレスや健康増進に関する臨床心理の視点をみにつけることである。概要としては、ストレスとその影響及び対処法、食や睡眠など生活習慣と関連のある症状やその対処法、子どもの逆境体験の影響などについて扱う。授業の中で、対象者の理解度や状態に応じて、適宜グループワークも実施する。	2
3.教育学部教育福祉学科	道免逸子	RSM101-A81	災害と安全	<p>この授業の目的は、災害について、一人の被災者から、地域、国、地球全体への影響を考え、また、発災直後から中長期までの影響を多角的に捉え、安全を確立するための知恵と力を持つ人になることである。</p> <p>概要は以下のようなものである。災害の種類、種類別の対応、災害の基礎知識について学び、実際に身の回りでどのようなことが起きるのか、シミュレーションすることで、生きる力を身に着ける。また、災害を心理面、身体面、社会面から考察し、防災、減災について学び、自助力の向上を目指す。災害に関する精神、心理的課題に焦点をあてる災害心理学に対し、この授業では、災害について広く全般的に学ぶ。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	中尾繁樹	SED201-A51	障害者教育総論	<p>障害児（者）の正しい理解と認識を深めるとともに、特殊教育から特別支援教育への移行を学習していく。平成19年度から始まった特別支援教育は、これまでの「場の教育」から「機会の教育」へと内容が変化している。その基本的な理念と内容について学ぶことで、特別支援教育の今日的課題を考察していきたい。</p> <p>それらの学習によって基本的な知識及び技能の習得を目指し、障害のある子ども一人ひとりへの具体的な支援の手立てを考えていく。障害児（者）の問題は、人間発達の問題であり、全ての教育の基本になるものである。教職を目指すもの全てに必要な内容であり人としての人間観を育むことで、将来の進路に向けた資質向上につながるようにする。</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	中尾繁樹	SED204-A01	肢体不自由教育総論	<p><概要>肢体不自由児（者）の正しい理解と認識を深めるとともに、肢体不自由教育の歴史や学習指導要領の変遷をたどりながら、主に肢体不自由教育の全般的な理解について学習する。肢体不自由を主とした特別支援学校及び特別支援学級での指導の実際を学習する中で、特別な教育内容、領域教科を合わせた指導（遊びの指導、生活単元学習、作業学習、日常生活の指導）の授業、自立活動、教科の授業等について理解する。さらに「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」について、その基本的考え方や策定方法も理解する。</p> <p>(目的)以上の学習によって基本的な知識及び技能の習得を目指し、肢体不自由のある子ども一人ひとりへの具体的な支援の手立てを考えていく。ライフステージそつた様々な事象や現象について触れながら肢体不自由児の教育課程、心理、生理及び指導法を理解し、将来の進路に向けた資質向上につながるようにする。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	中尾繁樹	SED403-A01	教育実習(特別支援学校)	<p>教育実習は、教職資格を取得するための必須の専門科目であり、教育の実際場面での研究と指導力を高めることがねらいである。</p> <p>そのため、教育実習にあたっては、その意義や目的、教育指導上基本となる事項等について正しく、深く理解しておかねばならない。</p> <p>実習事前事後指導は、教育実習で学ばなければならない事項の学習のみでなく、教師としてのあり方、姿勢も含め、きわめて重要な学習であるといえる。</p> <p>教育実習は広い領域に渡って教員としての全てを学び取ろうとするものであるため、事前事後指導の学習が実習だけでなく、今後の進路に影響することもある重要な役割を担っているのが本科目の大きな特徴である。</p>	3
3.教育学部教育福祉学科	道中 隆	SWK104-A01	社会保障論	<p>【目的】</p> <p>グローバル化した循環型市場経済の中の雇用の劣化とセーフティネットの綻び、人口減少と同時進行する高齢者の増加は、年金・医療・介護などのニーズを高め、社会保障制度の根幹を揺るがすものとなっている。この超高齢社会での日本の社会保障制度、各国の社会保障制度を鳥瞰し、セーフティネットとしての社会保障のしくみとその在り方について理解する。</p> <p>【概要】</p> <p>日本の社会保障は大きな転換期を迎え、著しい人口減少、家族、雇用といった激動の波を受けようとしている。近代から現代へ社会保障制度がなぜ生まれ、どのような変遷を経て、現在どのような困難に直面し、政策課題を抱えているのか、生活上の安全や多様性について領域横断しつつ、論理的に理解する。具体的には、社会保障制度である年金保険、医療保険、介護保険、民間保険、公的施策、社会保障の実施体制、専門職などについて理解し、政策的課題としての認識を深める。</p>	4

3.教育学部教育福祉学科	道中 隆	SWK203-A51	公的扶助論	<p>【目的】</p> <p>貧困の格差が拡大する中、働いても生活が困難なボーダーライン層やワーキングプアが大きく裾野を広げている。最後のセーフティネットである生活保護受給者が増加する中、中間的セーフティネットの生活困窮者自立支援制度の利用者も急増している。これらの貧困者を対象とする制度のしくみを理解することを目的とする。</p> <p>【概要】</p> <p>救貧的機能の二次的セーフティネットの生活保護の動向や生活困窮者自立支援の制度運用に関する自治体財政、自立支援のあり方、保護の実施体制などについて議論したい。適宜、社会事象をとりあげ生活困窮世帯の自立支援方策について、政策的課題として認識を深める。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	百瀬和夫	PED403-A51	教職実践演習（小）	<p>○学習指導について、模擬授業、ロールプレイ、授業参観、学習指導案研究等により授業力を高める。</p> <p>○学級経営において、現職教員の講話、実践事例研究、グループによる演習等により指導実践力を高める。</p> <p>○学校の服務、校務分掌などの実際について知り、社会性を身に付ける。</p> <p>○特別支援などの知見から、子ども理解・指導理解を深め、対人関係能力（対応力）を高める。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	百瀬和夫	PED403-A55	教職実践演習（小）	<p>○学習指導について、模擬授業、ロールプレイ、授業参観、学習指導案研究等により授業力を高める。</p> <p>○学級経営において、現職教員の講話、実践事例研究、グループによる演習等により指導実践力を高める。</p> <p>○学校の服務、校務分掌などの実際について知り、社会性を身に付ける。</p> <p>○特別支援などの知見から、子ども理解・指導理解を深め、対人関係能力（対応力）を高める。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	大西洋史	EED208-A01	保育内容・表現Ⅰ	<p>本科目では、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針及び幼稚園教育要領における領域「表現」について考察し、幼児の未分化な表現とその指導についての理解を深めます。</p> <p>本授業では特に、幼児の造形について取り扱い、幼児の造形作品を鑑賞したり、幼児の造形に関する研究に触れたりすることを通して幼児理解を進めるとともに、幼児と造形の関わり及びその活動の意義を学び、併せて基礎的指導力を養います。また描いたり、つくったり、みたりする活動を通して、互いの「違い」の面白さに気づき、色や形を介してのコミュニケーションの意義を認識します。</p> <p>それに加えて、その過程を通して自ら創造する喜びを味わい、保育者に必要とされる豊かな感性を自己の中に育てます。</p>	1

3.教育学部教育福祉学科	大西洋史	EED228-A01	こどもと表現	本科目では、幼児が表現する姿や、その発達を理解します。また、様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通して、幼児の表現を支えるための感性を豊かにします。それに加えて、その過程を通して?ら表現する喜びを味わい、保育者に必要とされる豊かな感性を??の中に育てます。☒	1
3.教育学部教育福祉学科	大西洋史	EED319-A01	表現（指導法）Ⅰ	本科目では、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針及び幼稚園教育要領における領域「表現」について考察し、幼児の未分化な表現とその指導についての理解を深めます。 本授業では特に、幼児の造形について取り扱い、幼児の造形作品を鑑賞したり、幼児の造形に関する研究に触れたりすることを通して幼児理解を進めるとともに、幼児と造形の関わり及びその活動の意義を学び、併せて基礎的指導力を養います。また描いたり、つくったり、みたりする活動を通して、互いの「違い」の面白さに気づき、色や形を介してのコミュニケーションの意義を認識します。 それに加えて、その過程を通して自ら創造する喜びを味わい、保育者に必要とされる豊かな感性を自己の中に育てます。	1
3.教育学部教育福祉学科	大西洋史	EED403-A51	教職実践演習（幼）	【目的】 この授業では、幼稚園・保育に関する自己課題に気づき、気付いた自己課題の改善を図るとともに、保育実践力を高めることを目的としています。 【概要】 「教職実践演習（幼）」は、幼稚園教員免許、保育士資格の取得にとって必須の科目です。本科目では、教員・保育者として求められる、①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③こども理解やクラス運営等に関する事項、④保育内容等の指導力に関する事項について、総合的・横断的に学ぶと共に、実践について最終的な確認を行うこととなります。将来的に教育・保育に携わる際に有用な学修となります。	2
3.教育学部教育福祉学科	大西洋史	EPE403-A51	造形Ⅱ	本科目では、図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史的変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。 その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力の形成をはかります。 受講生の希望も取り入れながら様々な造形活動に取り組みます。その活動を通して造形教育の理念と方法を理解し、授業を計画実施できる能力を養います。	1

3.教育学部教育福祉学科	大西洋史	PED203-A51	初等図画工作科教育法	<p>本科目では、図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史の変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。</p> <p>その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力量的の形成をはかります。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	大平誠也	EPE101-A02	体育指導Ⅰ	<p>仲間との協同学修を通して、各種目の運動技能を高めるとともに、小学校における楽しい体育学習のあり方について実践的に学修し、不安感を改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール運動プログラム ・体づくり運動プログラム（主として縄を使って） ・陸上運動プログラム <p>小学校の体育指導の問題点は、低学年の指導にあることから想定される課題解決に取り組む。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	大平誠也	EPE101-A03	体育指導Ⅰ	<p>仲間との協同学修を通して、各種目の運動技能を高めるとともに、小学校における楽しい体育学習のあり方について実践的に学修し、不安感を改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール運動プログラム ・体づくり運動プログラム（主として縄を使って） ・陸上運動プログラム <p>小学校の体育指導の問題点は、低学年の指導にあることから想定される課題解決に取り組む。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	大平誠也	EPE102-A51	体育指導Ⅱ	<p>【目的】 体育指導Ⅰに引き続き、仲間との協同学修を通して、各種目の運動技能を高めるとともに、小学校における楽しい体育学習のあり方について実践的に学修する。</p> <p>【概要】 幼保小学校で取り組む教材の中でも、指導が困難と報告されている種目を取り上げ、体験的に指導法を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現運動プログラム（リズムダンス低学年・リズムダンス発表会・創作リズムダンス、発表会） ・器械運動プログラム（さまざまな動きにつながる運動遊び、マット運動、跳び箱運動、鉄棒運動） ・ボール運動プログラム（ネット型 キャッチバレー、バレーボール、大会の運営） <p>小学校の体育指導の問題点は、低学年の指導にある（白幡氏）ことから想定される課題解決を重点的に取り組む。大会の運営を通してスポーツ教育としての体育について学修する。第14回目には、障害のある人の「ために」ではなく、「ともに」スポーツを楽しむためにユニファイドスポーツ種目を体験する。</p>	1

3.教育学部教育福祉学科	大平誠也	EPE102-A52	体育指導Ⅱ	<p>【目的】体育指導Ⅰに引き続き、仲間との協同学修を通して、各種目の運動技能を高めるとともに、小学校における楽しい体育学習のあり方について実践的に学修する。</p> <p>【概要】 幼保小学校で取り組む教材の中でも、指導が困難と報告されている種目を取り上げ、体験的に指導法を学ぶ。 ・表現運動プログラム（リズムダンス低学年・リズムダンス発表会・創作リズムダンス、発表会） ・器械運動プログラム（さまざまな動きにつながる運動遊び、マット運動、跳び箱運動、鉄棒運動） ・ボール運動プログラム（ネット型 キャッチバレー、バレーボール、大会の運営） 小学校の体育指導の問題点は、低学年の指導にある（白幡氏）ことから想定される課題解決を重点的に取り組む。大会の運営を通してスポーツ教育としての体育について学修する。第14回目には、障害のある人の「ために」ではなく、「ともに」スポーツを楽しむためにユニファイドスポーツ種目を体験する。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	下里里枝	EED203-A01	保育内容総論	<p>【目的】 この科目は、保育の基本的な理念や目的、幼児の発達や保育・教育の原理、保育環境の整備など、保育に関する幅広い内容をカバーする科目である。</p> <p>【概要】 1、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「保育の目標」[育みたい資質・能力]「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」の関連を理解する。 2、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。 3、子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史の変遷等を踏まえ、保育の内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）につなげて理解する。 4、最近の保育の多様な課題について理解する。</p>	1

3.教育学部教育福祉学科	下里里枝	EED218-A01	保育実習Ⅰ事前事後指導①	<p>【目的】 保育実習の意義・目的を理解する。</p> <p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 2 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 3 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。 4 実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。 	1
3.教育学部教育福祉学科	下里里枝	EED225-A51	こどもと人間関係	<p>【目的】 この科目は、幼児が人と関わる力の育ちに関する専門的事項についての知識を身につけることを目的とする。保育者が子どもたちと適切に関わり、彼らの健やかな成長と発達を支援するための必要なスキルや技能が身に付けられる。主に講義を中心に授業をする。具体的な展開は、「人間関係（指導法）」で学ぶ。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期から学童期にかけての子どもの発達段階や特性を理解する。 ・信頼関係の構築方法など、適切な子どもとの関わり方や接し方を学ぶ。 ・個々の子どもの特性を理解し、それに適した支援やアプローチを行う能力を養う。特別支援教育の基本的な理解も含む。 ・保育者としての倫理規範や職業道徳に理解を深める。保育活動における倫理的な行動のガイドラインなどを学ぶ。 	1
3.教育学部教育福祉学科	下里里枝	EED307-A01	保育実習Ⅱ事前事後指導	<p>【目的】 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。</p> <p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習や既習の教科目の内容や、その関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 2 保育の観察、保育記録及び保育指導案の書き方などを学び、保育実践や事例を通して理解する。 3 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 4 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。 	1

3.教育学部教育福祉学科	下里里枝	EED312-A51	幼稚園教育実習事前事後指導	<p>これまで学んできた幼児教育にかかわる専門的知識や技能を基礎に、実習という実践現場で総合的に能力が発揮できるための準備を進めていく。また、何のために幼稚園教育実習に行くのか、実習先はどのような所なのか、実習はどのようなことをするのかなどを理解させ、実習を効果的に行うための動機付けを行う。</p> <p>実習に必要な社会人としてのマナーの自覚や意識化、実習園でのオリエンテーションの持ち方、事務的な手続きについても具体的に指導を行う。</p> <p>事後指導は、実習体験をどのように捉えているか、実習の学びを考えさせる。実習日誌や実習園の評価を基に振り返り、次回の実習に活かせるよう新たな課題について学び、発揮できるようにする。</p> <p>※これからの社会で求められる人材を育成していくため、本授業では、ICTを活用した保育の展開方法の検討や、DX教材の360度カメラを用いた、振り返りを実施します。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	下里里枝	EED313-A51	乳児保育Ⅱ	<p>【目的】</p> <p>本科目では、乳児保育1の学びを踏まえ、乳児期の保育に必要な基本的なスキルや知識を習得し、乳児の健やかな成長と発達を支援する保育者としての役割を果たす能力を身につけることを目的とする。</p> <p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児期の発達段階や特性を理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、乳児保育の方法及び環境構成について具体的に理解する。 3. 乳児期に適した遊びや活動、関わり方などについて理解する。 4. 乳児の安全管理と衛生管理を確保するための基本的な知識や対策や注意点を学ぶ。 5. 乳児保育における指導計画の作成について具体的に理解する。 6. 保護者と信頼関係を築き、乳児保育を行う方法を探求する。 <p>※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。</p>	1

3.教育学部教育福祉学科	下里里枝	EED313-A52	乳児保育Ⅱ	<p>【目的】</p> <p>本科目では、乳児保育Ⅰの学びを踏まえ、乳児期の保育に必要な基本的なスキルや知識を習得し、乳児の健やかな成長と発達を支援する保育者としての役割を果たす能力を身につけることを目的とする。</p> <p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児期の発達段階や特性を理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、乳児保育の方法及び環境構成について具体的に理解する。 3. 乳児期に適した遊びや活動、関わり方などについて理解する。 4. 乳児の安全管理と衛生管理を確保するための基本的な知識や対策や注意点を学ぶ。 5. 乳児保育における指導計画の作成について具体的に理解する。 6. 保護者と信頼関係を築き、乳児保育を行う方法を探求する。 <p>※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	下里里枝	INT212-A01	インターンシップⅡ	<p>【目的】</p> <p>教育・保育現場における活動を中心として、教育現場への理解を深めることを目指す。</p> <p>【概要】</p> <p>教育保育インターンシップⅡでは、教育現場における現状と課題を学習する。一人ひとりが課題を持ち、多様な体験することを通して問題解決の糸口を探ることができれば、教育・保育実習につながる。</p> <p>また、グループワークを通して情報の共有を図り、研究を進めていくことにより、教育・保育現場理解という目的達成をより確かなものにする。</p> <p>さらに毎回の活動記録を書くことや、担当教員の指導を受け、疑問や問題を解決し、実践的能力が高まっていくことを目的とする。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	中西一彦	EED217-A51	言語表現技術	<p>[目的]</p> <p>幼児期言語の特徴を理解し、言語表現技術の具体的展開のための技術を習得することをめざす。</p> <p>[概要]</p> <p>言語表現の基礎基本として「聞く・話す、読む、書く」を位置づけることができる。</p> <p>幼児期においては、ことば獲得段階として「話す・聞く・演じる」ことへの興味・関心が高まることを学ぶ。</p> <p>幼児期に積極的かつ意欲的な態度を身につけるには、周囲にいる大人の関わり方が大きく影響することを学ぶ。</p>	1

3.教育学部教育福祉学科	中西一彦	EED227-A01	こどもと言葉	<p>【目的】 領域「言葉」の内容に関する基礎的知識について学修することを目的とする。</p> <p>【概要】 幼児が言葉を獲得する意義について理解する。 幼児の発達に対して果たす言葉の役割について考える。 多様な児童文化財の内容と価値について知る。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	春木裕美	EED202-A01	社会的養護	<p>【目的】 社会的養護とは、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに養育困難を抱える家庭への支援を行うことである。現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷を学び、社会的養護と子ども家庭福祉の関連及び子どもの権利擁護について理解を深める。社会的養護の制度や実施体系を学び、現状と課題について考察し、社会的養護のあり方を学ぶ。</p> <p>【概要】 ・ 貧困や虐待から子どもの命と人権を守るためにはどうすれば良いのか、子どもにとっての最善の利益とはどのようなことなのだろうかを常に問いながら学んでいく。 ・ 社会的養護の歴史の変遷、現代の貧困や虐待の実態を学ぶことで、社会的養護の意義について理解する。 ・ 社会的養護の制度や実施体系について、動画の視聴や書籍等を通して理解していく。 ・ 保育士に求められる専門性や支援の在り方を追求する。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	春木裕美	EED214-A01	障害児保育Ⅰ	<p>【目的】 障害児保育の理念や概要、障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の現状と課題について理解し、保育士に求められる障害児保育に必要な基本的姿勢や基本的知識、保育方法・技術について学ぶことを目的とする。</p> <p>【概要】 ・ 障害児保育を支える理念や歴史の変遷について学ぶことにより、どのようにして、現在の障害児保育に至っているのかを理解する。 ・ それぞれの障害特性、子どもの発達レベルを理解しつつも、「ひとりの子ども」として成長を支えていくための支援方法を獲得する。 ・ 対象となる子どもの保護者の心情を理解し、子どもとその保護者を支えていく観点を理解する。</p> <p>本授業では、講義形式を主とするがグループワークを通じて意見交換を行い、自分の意見だけでなく客観的な見方ができるようになることを目指す。</p>	1

3.教育学部教育福祉学科	春木裕美	EED214-A02	障害児保育Ⅰ	<p>【目的】 障害児保育の理念や概要、障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の現状と課題について理解し、保育士に求められる障害児保育に必要な基本的姿勢や基本的知識、保育方法・技術について学ぶことを目的とする。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学ぶことにより、どのようにして、現在の障害児保育に至っているのかを理解する。 ・それぞれの障害特性、子どもの発達レベルを理解しつつも、「ひとりの子ども」として成長を支えていくための支援方法を獲得する。 ・対象となる子どもの保護者の心情を理解し、子どもとその保護者を支えていく観点を理解する。 <p>本授業では、講義形式を主とするがグループワークを通じて意見交換を行い、自分の意見だけでなく客観的な見方ができるようになることを目指す。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	春木裕美	EED215-A51	障害児保育Ⅱ	<p>【目的】</p> <p>障害児やことばの遅れのある子どもには、早期から言語・コミュニケーションを促すかかわりが必要になります。保育の場において、毎日、子どもと一緒に過ごす保育士のかかわりが重要です。子どもへのコミュニケーション支援の専門的技術を獲得することを目指します。また、子どもの行動の意味を探り、子どもが落ち着いて過ごせる環境づくり、援助方法について自分なりに考えることができる技術の獲得を目指します。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことば・コミュニケーション支援については、インリアル・アプローチの手法を理解します。 ・重症心身障害児へのアプローチとして、シンプルテクノロジーを用いた手法を理解します。 ・子どもの起こす問題行動への対応方法としてソーシャルスキル・トレーニングの手法を理解します。 ・子どもの育ちを支えるために、個別の指導計画の作成プロセスを理解します。 	1

3.教育学部教育福祉学科	春木裕美	EED215-A52	障害児保育Ⅱ	<p>【目的】 障害児やことばの遅れのある子どもには、早期から言語・コミュニケーションを促すかわりが必要になります。保育の場において、毎日、子どもと一緒に過ごす保育士のかかわりが重要です。子どもへのコミュニケーション支援の専門的技術を獲得することを目指します。また、子どもの行動の意味を探り、子どもが落ち着いて過ごせる環境づくり、援助方法について自分なりに考えることができる技術の獲得を目指します。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことば・コミュニケーション支援については、インリアル・アプローチの手法を理解します。 ・重症心身障害児へのアプローチとして、シンプルテクノロジーを用いた手法を理解します。 ・子どもの起こす問題行動への対応方法としてソーシャルスキル・トレーニングの手法を理解します。 ・子どもの育ちを支えるために、個別の指導計画の作成プロセスを理解します。 	1
3.教育学部教育福祉学科	春木裕美	EED216-A51	社会的養護内容	<p>【目的】 保育者として、社会的養護が必要な子どもの心理的側面を理解し、日常をサポートする方法やアフターケアについて学びます。子ども本人だけでなく、家族や地域、関係機関との連携の意義と方法にも焦点を当てて学習します。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の権利擁護と保育士等の倫理及び責務を理解する。 ・子どもの心理的側面と日常生活支援の方法を理解する。 ・個々の児童に応じた支援計画を作成する。 ・社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術を理解する ・家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉への理解を深める。 	1
3.教育学部教育福祉学科	松本恵美子	EED308-A11	保育実習Ⅲ事前事後指導	<p>①さまざまな種類の施設の子どもの抱える問題と、その生活を知り、理解をする。</p> <p>②さまざまな種類の施設の果たしている役割を理解する。</p> <p>③施設の子どもの支援の方法を学び、一人一人の子どもに合わせたコミュニケーションの取り方を学ぶ。</p> <p>④施設職員の仕事内容を知り、保育士の専門性について学ぶ</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	松本恵美子	EED310-A01	保育実習Ⅲ	<p>①さまざまな種類の施設の子どもの抱える問題と、その生活を知り、理解をする。</p> <p>②さまざまな種類の施設の果たしている役割を理解する。</p> <p>③施設の子どもの支援の方法を学び、一人一人の子どもに合わせたコミュニケーションの取り方を学ぶ。</p> <p>④施設職員の仕事内容を知り、保育士の専門性について学ぶ</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	上原昭三	PED302-A01	初等算数科教育法	<p><授業の概要> 小学校で実際に算数の授業を行うこと（教育実習含む）を念頭に置いて、それに必要な知識・技能・考え方について、学習指導要領等を踏まえて理論的に学ぶとともに、模擬授業づくりなどのグループワークや演習を通して実践的に磨いていく。</p> <p><授業の目的> 算数科における教育目標、目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる数学の理論や法則と関連させて理解を深めるとともに算数教育の理論をはじめとしたさまざまな学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	上原昭三	PED309-A51	道德教育の指導法	<p><授業の目的> 学校の教育活動全体を通じて行う道德教育及びその要となる道德科の目標や内容、指導計画等について理解を深めるとともに、道德教育に関する実践的な指導力を身に付ける。</p> <p><授業の概要> ①学習指導要領解説などの記述を基に、講義や演習を通して、道德の意義や原理等について理解を深め、道德科の目標や内容、指導計画等について学ぶ。 ②学んだ知識・技能を活用して、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業を行う。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	上原昭三	PED319-A51	算数Ⅱ	<p>目的： 興味深い算数指導を行うことを念頭に、算数Ⅰでの学修を1歩進めた、知識・技能・考え方を身につけることをめざす。</p> <p>概要： ・教員採用選考試験で出題された数学の問題演習を通じて算数・数学的な知識および考え方を深める。 ・実践事例を参照しながら、（子どもたちの）日常事象や身近にある素材を活かした教材（教具）づくりの考え方や方法について学ぶ。</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	上山敏弘	PED402-A01	特別活動の指導法	<p>新学習指導要領の中で、小学校特別活動が改善された基本方針、具体的事項を知り、この教育活動のめざしているものを確実に理解しておくことは大切である。</p> <p>また、各活動・学校行事の改善のポイント・教育活動の内容・指導計画の作成・他の教育活動との関連等を具体的に調べることから、特別活動の基本的な性格と教育的意義の理解を深めることをねらいとしている。さらに、今小学校現場で取り組まれている特別活動の情報を収集して、グループワークなどから、具体的な活動計画の作成に取り組んでいきたい。</p> <p>また、学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つと共に、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	大平誠也	PED316-A02	小学校教育実習Ⅰ	<p>【目的】 この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。</p> <p>【概要】 教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の場で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。</p> <p>実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。</p> <p>小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	大平誠也	PED317-A02	小学校教育実習Ⅱ	<p>【目的】 この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。</p> <p>【概要】 教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の場で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。</p> <p>実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。</p> <p>小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	大平誠也	PED318-A01	教育実習事前事後指導	<p>【目的】 この科目は、小学校教師として教育現場での研究と指導力を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 教育実習は、教職資格を取得するための必須の専門科目であり、教育の実際場面での研究と指導力を高めることがねらいである。そのため、教育実習にあたっては、その意義や目的、教育指導上基本となる事項等について正しく、深く理解しておかねばならない。さらに、人間を育てていくという学校教育の場で知っておかねばならないルールや守らなければならない規律・規則など事前に学んでおくべきことが多くある。それらを総じて、実習事前事後指導は、教育実習で学ばなければならない事項の学習のみでなく、教師としてのあり方、姿勢も含め、きわめて重要な学習であるといえる。</p> <p>教育実習は広い領域に渡って教員としての全てを学び取ろうとするものであるため、事前事後指導の学習が実習だけでなく、今後の進路に影響することも重要な役割を担っているのが本科目の大きな特徴である。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	大平誠也	PED205-A51	初等体育科教育法	<p>小学校における体育科の各運動領域の特性やねらいを理解し、学年や発達に応じた指導計画を作成する力を育成し、学習指導案作成を通して教材研究し、授業を創造的に展開していきける力を養成する。</p> <p>その際、運動が持つ特性を理解し、児童が運動それぞれが持つ固有の楽しさに触れることができるような学習活動を展開する。</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	中西一彦	PED103-A01	国語Ⅰ	<p>[目的] 基礎的な国語力を高めることをめざす。</p> <p>[概要] 新聞と読書を中心に「言葉を育てる」ことを学ぶ。 教育現場において行われる「聞く・話す、読む、書く」という言語活動について、文献や事例をもとに学ぶ。 読書タイムや書取テスト、スピーチの実践を通して、国語の知識と技能について学ぶ。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	中西一彦	PED103-A02	国語Ⅰ	<p>[目的] 基礎的な国語力を高めることをめざす。</p> <p>[概要] 新聞と読書を中心に「言葉を育てる」ことを学ぶ。 教育現場において行われる「聞く・話す、読む、書く」という言語活動について、文献や事例をもとに学ぶ。 読書タイムや書取テスト、スピーチの実践を通して、国語の知識と技能について学ぶ。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	中西一彦	PED201-A51	初等国語科教育法	<p>[目的] 授業を作るためのプロセスと意義を理解し、実践することをめざす。</p> <p>[概要] ・講義とグループワークを中心とする授業を通して、国語科教育の実際を知り、現状における課題を浮き彫りにし、これからの国語科教育の歩むべき方向を知る。 ・授業を作ることに必要な教師の国語力とはいかなるものかを明らかにする。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	中西一彦	PED211-A51	国語Ⅱ	<p>[目的] 「聞く・話す、読む、書く」の基礎的技能のレベル向上を図り、国語力の伸長をめざす。</p> <p>[概要] 大村はまの実践から「教えるということ」の本質を探ることを第一義とする。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	中西一彦	PED222-A01	板書技術	<p>[目的] 教育実習に向かう実践力を身につけることをめざす。</p> <p>[概要] 教育現場において、黒板・電子黒板の活用は必要不可欠である。子供たちの学習指導を支援するのは、効果的な板書である。そこで、黒板の効果的な書き方、電子黒板の使い方を伝授する</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED223-A01	生活	<p>【目的】 この科目は、小学校生活科の目標を理解し、指導力の基礎を身に付けることを目的とします</p> <p>【概要】 ○小学校生活科の成立過程から、幼稚園・保育園との接続の重要性について学ぶ ○生活科の単元の概要を捉える ○学習内容に応じた活動計画の作成・活動案を立案する ○模擬授業やグループワークなどの体験を通して、授業の奥深さや面白さを体感する</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED224-A51	総合的な学習の時間の指導法（小）	<p>【目的】 この科目は、小学校「総合的な学習の時間」の成立の背景とその理念を捉え、探究的な活動について協議することを目的とします</p> <p>【概要】 ○小学校総合的な学習の時間の基本理念（目標・内容等）について学ぶ ○活動内容に応じたテーマ設定、活動計画、活動案の作成法について学ぶ ○作成した活動案の検討・分析を通して、授業技術について学ぶ ○グループワーク、模擬授業等の活動を通して、授業の奥深さ、面白さを体感する ○SDG s をテーマにした教材開発に取り組む</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED301-A01	初等社会科教育法	<p>【目的】 この科目は、小学校教師として社会科の目標を理解し、授業の基礎を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 ○小学校社会科の基本理念（目標・内容等）について学ぶ。 ○学習内容に応じた指導計画の作成法。指導計画に基づく指導案の作成。 ○作成した指導案の検討・分析などを通して、授業技術について学ぶ。 ○模擬授業やグループワークなどの体験を通して、授業の奥深さ、面白さを体感する。</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED304-A01	初等生活科教育法	<p>【目的】 この科目は、小学校教師として生活科の目標を理解し、指導法の基礎を身に付けることを目的とします</p> <p>【概要】 ○生活科の基本理念について理解する。 ○生活科の学習指導に必要な基礎知識や教育技術について学ぶ ○生活科の学習内容に応じた指導計画の作成法。指導計画に基づく指導案の作成法について学ぶ ○作成した指導案の検討・分析などを通して、授業技術について学ぶ ○発表活動やグループワークなどを通して、授業のおもしろさ難しさなどの体験をする。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED312-A01	社会Ⅰ	<p>【目的】 この科目は、特に小学校3年・4年生の社会科教材について、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業設計の基本を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 ○学習指導要領における小学校社会科教育の目標・内容等のねらいやポイントを理解しつつ社会科の教育実践につなげる。 ・小学校社会科教育の目標・内容と具体的な実践との比較研究 ・社会科教育における資料の活用を中心として学習スキルを検討・研究する ・発表活動、グループワークなどの体験を通じた指導法の研究</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED313-A51	社会Ⅱ	<p>【目的】 この科目は、特に小学校5年/6年生の単元についての教材研究を通して、小学校社会科教育についての理解を深めることを目的とします</p> <p>【概要】 ○社会Ⅰで学んだ小学校社会科教育の目標・内容等のねらいやポイントなどの理解を深め、社会科の教育実践力向上をめざす。 ○小学校社会科教育の目標・内容と具体的な実践との比較研究 ○社会科教育における資料の活用を中心とした学習スキルを検討・研究する ○発表活動、グループワークなどの体験を通じた指導法の研究</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED316-A01	小学校教育実習Ⅰ	<p>【目的】 この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。</p> <p>【概要】 教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の場で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。</p> <p>実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。</p> <p>小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED317-A01	小学校教育実習Ⅱ	<p>【目的】 この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。</p> <p>【概要】 教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の場で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。</p> <p>実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。</p> <p>小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED318-A02	教育実習事前事後指導	<p>【目的】 この科目は、小学校教師として教育現場での研究と指導力を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 教育実習は、教職資格を取得するための必須の専門科目であり、教育の実際場面での研究と指導力を高めることがねらいである。そのため、教育実習にあたっては、その意義や目的、教育指導上基本となる事項等について正しく、深く理解しておかねばならない。さらに、人間を育てていくという学校教育の場で知っておかねばならないルールや守らなければならない規律・規則など事前に学んでおくべきことが多くある。それらを総じて、実習事前事後指導は、教育実習で学ばなければならない事項の学習のみでなく、教師としてのあり方、姿勢も含め、きわめて重要な学習であるといえる。</p> <p>教育実習は広い領域に渡って教員としての全てを学び取ろうとするものであるため、事前事後指導の学習が実習だけでなく、今後の進路に影響することもある重要な役割を担っているのが本科目の大きな特徴である。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	松尾和宣	REG306-A51	防災教育	<p>【目的】 この科目は、学校園や施設等のセーフティ・マネージメントに関して理解し、防災・防犯に関しての方策を具体的に提案できる力を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 ○通学途中や学校内で様々な被害や事故に遭遇する事件が頻発しているが、不審者の侵入や校内での事故を防ぐために学校としてどのような安全対策を講じているかを検証する。 ○問題事案が起こった時に、解決策はどのようにすればよいか、最近の事例を基に防犯対策などを検証する。 ○学校という集団生活の場において災害や事故発生時の学校と自宅の保護者との連携の取り方やその訓練方法など、地域の防災計画、そして、学校での事故等の対応について検証する。 ○教職員として、災害直後の具体的な動きを阪神淡路大震災、東北大震災等の事例を基に検討する。</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	水本隆正	PED316-A03	小学校教育実習Ⅰ	<p>【目的】 この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。</p> <p>【概要】 教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の場で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。</p> <p>実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。</p> <p>小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	水本隆正	PED317-A03	小学校教育実習Ⅱ	<p>【目的】 この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。</p> <p>【概要】 教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の場で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。</p> <p>実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。</p> <p>小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	水本隆正	PED318-A03	教育実習事前事後指導	<p>【目的】 この科目は、小学校教師として教育現場での研究と指導力を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 教育実習は、教職資格を取得するための必須の専門科目であり、教育の実現場面での研究と指導力を高めることがねらいである。そのため、教育実習にあたっては、その意義や目的、教育指導上基本となる事項等について正しく、深く理解しておかねばならない。さらに、人間を育てていくという学校教育の場で知っておかねばならないルールや守らなければならない規律・規則など事前に学んでおくべきことが多くある。それらを総じて、実習事前事後指導は、教育実習で学ばなければならない事項の学習のみでなく、教師としてのあり方、姿勢も含め、きわめて重要な学習であるといえる。</p> <p>教育実習は広い領域に渡って教員としての全てを学び取ろうとするものであるため、事前事後指導の学習が実習だけでなく、今後の進路に影響することもある重要な役割を担っているのが本科目の大きな特徴である。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科 単位数合計				123	

4.経営学部経営学科	北村正仁	MNG212-A01	中小企業論	<p>【目的】 この科目は、日本の中小企業の経営をマネジメントの視点から捉えることを目的とします。</p> <p>【概要】 皆さんは「中小企業」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか？ 実は、日本の企業数の99.7%が中小企業で、66.0%の人が中小企業で働いています。つまり、中小企業は日本経済にとってとても大きな役割を果たしています。その中小企業の経営を、経営学（マネジメント）の視点から考えながら学修します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業とは ・ 中小企業環境適応マネジメント ・ 中小企業資源統合マネジメント <p>日本の中小企業の概況を理解し、社外環境にいかに対応しているのか、社内資源をいかに活用するのかなど、中小企業経営をマネジメントの視点から考えます。そのうえで、中小企業経営の特徴・課題・可能性を考察していきます。</p> <p>【対象者】 次のような将来像を描いている人に薦められる科目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大企業だけでなく中小企業の魅力や可能性を知りたい（将来就職を考えている） ・ 家業の手伝いや事業継承を考えている（将来中小企業の経営に携わる） ・ 将来は自らの夢を実現するために「起業」を考えている（起業して経営をやりたい） <p>など</p>	2
------------	------	------------	-------	---	---

4.経営学部経営学科	北村正仁	MNG213-A51	マネジメント・サイエンス	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営（マネジメント）という人間の組織的活動であるビジネス課題に対して、科学的かつ論理的な解決策を導き出す考え方や方法論について学ぶ。 <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マネジメント・サイエンス」とは、経営課題（マネジメント課題）を科学的に解決するため、論理的・合理的な意思決定を行うことである。 ・授業の前半は、数理的な手法を学ぶ前に言語データを扱う手法や代表的なセオリーについて学ぶ。 ・具体的には、経営戦略や事業戦略を考える代表的なセオリーとしての「ビジネス・フレームワーク」を学ぶ。 ・授業の後半は、数理的な手法を中心に様々な数的・量的な課題や事象を理解し、科学的かつ論理的な解決策を導き出すために参考となる基礎的手法を学ぶ。 ・具体的には、科学的なマネジメントを行っていくためのベースとなる「オペレーションズ・リサーチ」の各種理論の基礎的な解説を行う。 ・マネジメントサイエンスは数的、量的な問題を扱う学問であるが、できるだけ数式や数学計算に頼らない授業を目指す。 	2
4.経営学部経営学科	百濟正和	INT203-M72	インターンシップⅠ	<p>学内での学習成果としての専門知識やスキルを、特定の業種・業界のビジネスの現場で実践し、その有効性を確認する。また、現実社会における様々な経済現象を、今後の大学での学習にフィードバックする。このように大学と社会の往還を通して、企業の仕組みや作業の流れ、組織内の人間関係などを実際に体験することで、教室で勉強した知識についての理解を深めるとともに、就業意識と学習意欲を高める。</p> <p>授業は「事前学習」、「実習」、「事後のリフレクション」という3つの内容からなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習・・・受入企業及び業務の内容を理解し、実習の現場で必要とされるビジネスマナー、その他必要なスキルを習得する。また、実習により達成すべき課題(実習計画)を作成する。 ・実習・・・各企業の受入担当者の指導に基づき実施される。 ・事後学習・・・実習を行った各業務がどのような役割を分担するかを分析し、それぞれの業務に関する成功要因と失敗要因をまとめる。さらに問題解決のための情報を整理する。 	2

4.経営学部経営学科	杉林弘仁	MNG101-A01	経営学概論	<p>●目的</p> <p>私たちのいる社会は企業の活動がなくて存在し得ません。経営学を学ぶことは、これから皆さんが社会にはじめて踏み出すうえで、とても役立つ知識です。経営学は「お金儲け」の道具ではありません。「良い経営をするための方法を研究する学問」ですが、経営学がうみだしてきた知識は膨大です。それだけに経営学の範囲は広く、内容も複雑です。</p> <p>まず、この講義の目的は、まず、はじめて経営学を学ぶ受講生に、企業経営の根幹にある経営学がどういうものであるのか、経営学の全体像を理解してもらいます。そして、これから4年間をかけて経営学を勉強していくために必要な基本的な知識を身につけてもらいます。</p> <p>また、学習をしていくあいだに、皆さんは、経営学は企業だけのものではないことに気がつくと思います。経営学は、自らの夢を作り出し、それを人との関わりの中から実現していく、自らをマネジメントする手法でもあるのです。経営学概論のもうひとつの目的は、自らが学び考え、行動できるようになることでもあります。</p> <p>●概要</p> <p>テキストとして『1からの経営学(第3版)』を使いますが、参考書としてあげている『ゼミナール経営学入門』も時々使ってテキストの内容を補足します。</p> <p>各回の講義では、経営学を学ことは難しいものではなく、現実に使える道具(実学)であることがわかるように、私たちの身近にある出来事や企業の今の事例を使って、経営学の全体像をわかりやすく解説していきます。各回はテキストの章立ての順序とは変わりますが、事前に読んでおく箇所を伝えます。大人数ですが、毎回の学習は、一人で孤立することのないよう2人のペアでおこないます。時々グルー</p>	4
------------	------	------------	-------	--	---

4.経営学部経営学科	杉林弘仁	MNG201-A51	経営戦略論	<p>●目的</p> <p>皆さんは「戦略」という言葉をよく聞くことがあると思います。戦略という言葉が、多くの分野で様々な使われ方をしているので、混乱してしまうかもしれませんが、一般的には、戦いに勝つための大局的な方策や、大きな視点から目標を達成するための計画や方針のことを指します。経営学のなかでも実に幅広く使われています。例えば、経営戦略、企業戦略、事業戦略、成長戦略、市場戦略、競争戦略、マーケティング戦略、製品戦略など他にも数多くあります。それぞれに違いはあるのですが、多くは共通している部分があります。</p> <p>経営という言葉は「組織」を対象にして使われる言葉です。そして、経営戦略は、長期的な視野にたつて、組織のヒト、モノ、カネを使って、未来に向かって何をしようとするのか、その組織の方向付けをおこなうことです。この授業の目的は、皆さんに、経営戦略の基本的な概念を理解し、「戦略の使い手」となる基礎を身につけてもらうことです。経営戦略論を学ぶことは、それは同時に、周囲の状況を見極めて、未来に向けての目的を考え、「我が身にどのような戦略を立てるか」自らの生き方の方向を考えることでもあるのです。</p> <p>●概要</p> <p>テキストは『1からの戦略論(第2版)』を使って講義していきます。加えて、1年次開講の「経営学概論」で使った参考書『ゼミナール経営学入門』からも経営戦略論に関する部分を取り出して、経営学概論の続きを深掘りしていきます。経営学概論で学習した「外部の環境マネジメント①～④」を見直しておきましょう。皆さんは、15回の講義を通じて、経営学で一般化されている様々な戦略について理解し、そのメカニズムを考えます。各戦略論の概念を理解したうえで、ビジネス誌からも企業</p>	2
------------	------	------------	-------	---	---

4.経営学部経営学科	杉林弘仁	MNG211-A51	サービス企画論	<p>●目的 市場にはおびただしいほどのサービスや商品が現れます。そして、私たちはそのなかから気に入ったものを選択し購入しています。あなたは何故それを選択したのでしょうか。ここを起点にサービスや商品の企画を始めます。といっても、この企画の範囲はとても広いものです。この講義ではサービスや商品アイデアの企画と、そのアイデアをどのようにして伝えるのか、この2つに焦点をあてます。表面的な「カワイイ、カッコイイ」を越えて、サービスや商品を通じてどのようにして生活課題を解決していくのかを企画する過程、そして、そのプロモーションはどうあるべきかを立案する過程を理解していきます。</p> <p>この講義では、この2つを理解する過程を通じて、アイデアの企画力とそれを市場に伝える伝達力を身につけることが目的です。サービスと商品の企画を学ぶことは、皆さんの創造力とコミュニケーション力を高めることでもあります。</p> <p>●概要 テキストは『1からの商品企画』を使って講義していきます。最初は「サービスとは何か」商品論から入り、商品もサービスという「サービス・ドミナント」の考え方を学びます。そして企画の一連のプロセスに従って学習していきます。</p> <p>サービスや商品を企画するためにいかにして情報を収集するか。そして、収集した情報をもとに企画のコンセプト設計や視覚化をおこないます。アイデアの創出、コンセプトの開発、プロトタイプピング(試作品開発)の手法を学習します。最終的には、企画したものが、消費者のニーズに合ったものか、顧客ニーズとの検証というステップで学習します。</p> <p>授業は「互学互修」がテーマです。最初に企画チームを作ります。最初は講義形式</p>	2
------------	------	------------	---------	---	---

4.経営学部経営学科	杉林弘仁	MNG216-A51	ウェルビーイング経営	<p>●目的</p> <p>今日の企業経営において「ウェルビーイング(well-being)」という言葉が重要なテーマとして注目されています。ウェルビーイング経営は、従業員が身体的・精神的・社会的に良好な状態を保ちながら、やりがいを持って働けるように環境を整備することを指すものですが、SDGsで掲げられる目標と絡んで、その対象の範囲は広く、色々な角度から議論されています。</p> <p>ウェルビーイングについては、心理学、経済学、経営学など様々な領域で蓄積されてきた研究成果がありますが、ウェルビーイング経営を理解するには、その根幹にある経営学の分野の人的資本経営や人的資源管理の基礎的な概念をきっちりと理解しておくことが大切です。経営理念から人的資源管理で扱う諸理論、雇用や複利厚生についての基本的な概念を理解したうえで、現代のウェルビーイング経営への理解を深めていきます。</p> <p>地域や企業における実践事例を取り上げながら、人々がウェルビーイングな状態で生活し、働くために地域政策や企業経営においてどのような方策が必要かを考えます。</p> <p>これは、皆さん自身の生活や人生をどのように構築していくのか、それが自分にとって満足のいくものであるのか、自らの幸せをどう評価するのかを考えることにつながります。</p> <p>●概要</p> <p>概念的な理解は『1からの人的資源管理』を土台にして、皆さんが経営学概論で使った『ゼミナール経営学入門』も利用します。これらの概念を理解したうえで、ビジネス誌からの抜粋し、その概念を使ってどのように読み取れるか、現代的なト</p>	2
------------	------	------------	------------	---	---

4.経営学部経営学科	杉林弘仁	MNG302-A51	コンプライアンス	<p>今日の経営において「コンプライアンスCompliance」が極めて重要視されるようになってきました。企業の不祥事スキャンダルが相次いで起こるのはなぜでしょうか。コンプライアンスとは「法令遵守」と訳されていますが、コンプライアンスは、組織が法律と規制を遵守するという問題の解釈にはとどまりません。</p> <p>経営学はよい経営をするための学問です。企業の経営の舵取り役を担うのが経営者ですが、経営者が向かう先は誰がどうやって決めるのでしょうか。これは「企業倫理」や「コーポレート・ガバナンスcorporate governance(企業統治)」にかかわる問題となります。ガバナンスとは、決定された目的に照らして、企業経営が行われるように経営者を誘導し、適切な経営が行われているかどうかを監視する制度と慣行をいいます。企業の目的そのものの決定にかかわる、経営者がなす企業経営上の決定よりも上位にある概念です。</p> <p>つまり、企業のコンプライアンスを理解するためには、その基礎にある経営学のガバナンスについての議論を理解しておくことが必要になります。この授業では、ガバナンスについての基本的な概念を理解したうえで、現代のコンプライアンスへの問題を考えられることを目的とします。また、コンプライアンスを学ぶことは皆さん自身が、社会において「何をなすべきか」、「誠実」であることや「自らを律する」ことを考えることでもあります。</p> <p>●概要</p> <p>講義形式ですが、ディスカッションが中心になります。必ず課題文献を読んできてください。問題の捉え方は、皆さんが経営学概論で使った『ゼミナール経営学入門』を参考にします。企業倫理や企業の社会的責任、コーポレート・ガバナンスなどコンプライアンスにかかわる部分を取り出して深掘りしていきます。これらの概念を</p>	2
------------	------	------------	----------	--	---

4.経営学部経営学科	杉林弘仁	SMN304-A51	マネジメント専門演習	<p>●目的</p> <p>これから皆さんは、一人ひとりが個別の卒業論文を仕上げていくことになります。これまで単位を取ってきた科目とはまったく別の次元で考えて下さい。</p> <p>卒業論文こそが、大学教育を受けた集大成となります。しかし、論文を書くのはそう簡単なことではありません。1年半をかけて仕上げます。学生時間の4割を「論文」に割くと考えてもよいでしょう。常に頭のなかで論文に向き合っていなければなりません。その論文で最も難しいのは「テーマ」です。どういう「問い」に答える論文を書くのか、この「問い」を作ることが実に難しいのです。これが決まれば7～8割論文に到達できたことになります。</p> <p>これから、一人ひとりが個別の論文に挑戦していくわけですが、ゼミ生同士のディスカッションはとても有効です。論文には「型」があります。論文を数十本読んで、論文の型になれます。</p> <p>そのために、CiNiiやWeb of Scienceなどの図書館データベースから文献検索することに慣れておく必要があります。</p> <p>この半年は、図書館データベースからの検索能力を高め、皆さんが学んだ経営学の中で関心の高い分野から文献を抽出して、数十の論文を読み、その文献を理解するとともに、論文の書き方を身につけることを目的にします。次に研究計画書を作成し、まず1本の論文を書くことに挑戦します。学術論文を作成するノウハウをもつことは、「職業訓練」と同じです。自分の「技」を身につけることになり、これから社会人として生きていく強い武器となります。</p> <p>●概要</p> <p>問題を解くために、まず、情報収集技術を磨きます。図書館データベースを頻繁に</p>	2
------------	------	------------	------------	--	---

4.経営学部経営学科	杉林弘仁	SMN307-A01	プロジェクトマネジメント演習Ⅳ	<p>●目的 これまで経営学概論，そして「プロジェクトマネジメント演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を勉強してきた皆さんにとって，この演習のⅣは経営学基礎の総仕上げになります。その成果を「マネジメント検定試験3級」の検定試験に合格することで確認します。この試験は，日本経営協会が実施する資格認定試験で，この3級に合格することは，経営学部の大学生が習得しておくべき経営学に関する基礎知識を習得していることを示すものです。さらに将来に中小企業診断士試験を受験しようとする方はその基礎となります。この演習では，グループ学習によって全員の合格を目指します。但し，「目的」と「手段」を間違えないようにしてください。目的は，資格をとることではありません。目的は，経営学の基礎を理解し定着させることです。それには，この検定試験は非常に有効な手段となり，皆さんの次の可能性を広げてくれます。</p> <p>●概要 この演習で学習することは，皆さんがすでに学んできた理論や概念ばかりです。しかし，皆さんはまだ，経営学全体としてのつながりが持っていないかもしれません。テキストには，日本経営協会『マネジメント検定試験公式テキスト(Ⅲ級)－経営学の基本』を使います。これまでの経営学で学んだテキストを参考書にして，経営学の知識をつながりのある知識として定着させていきます。</p> <p>この演習では「互学互修」がテーマです。グループを作り，皆さんからテキスト・プレゼンテーションをおこなってもらいます。互いから学び，お互いに経営学の知識を修得していきます。</p>	4
4.経営学部経営学科	田中亜裕子	PSY108-Y01	教育心理学	<p>この科目は，教師として活動する際に必要な教育心理学の知識を身に付けることを目的としています。</p> <p>具体的には，教育心理学の意義および課題について考察した上で，知識の獲得過程、学習の動機づけ、学習の転移、個性・個人差と授業、学習指導について学ぶ。そして、教育心理学的なものの方・考え方を養った上で、発達を踏まえた学習支援について基本的な考え方を理解する。</p>	2

4.経営学部経営学科	寺井太郎	MRK102-Y51	マーケティング論	<p>目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身近な題材を用いた実践的なワークを通じて、マーケティングの視点を体得する 2. 自らのキャリアも含め、世の中で起こっていることをマーケティング視点で考える習慣を付ける 3. マーケティングに対する興味・関心を高め、受講後も学習を継続する動機付けとする <p>概要：</p> <p>10年前までのユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）は、来場者が思うように集まらず、経営破綻の危機に陥っていました。それが今や、日本を、いや世界を代表する一大テーマパークとして、たくさんの来場者で賑わっています。そのUSJの危機を救ったのが、「マーケティング」の力なのです。</p> <p>この講義では、USJの奇跡の復活など、今まさに起こっていること、これから起こることを、マーケティングの視点で体感し理解します。授業では、テーマパークの新アトラクション企画など、学生の皆さんが具体的にイメージしやすい、身近で親しみのある題材を多用します。</p>	2
4.経営学部経営学科	林万平	INT108-M81	業界研究	<p>本実習は、企業訪問実習を通じて、業界研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①各コースの訪問先・研修先企業等の業務内容とありかたを、自分なりにまとめる ②実社会の体験、業界の仕組み、仕事内容を頭と体で理解する。 ③自分の適性にあった職業か判断できるようにする。 <p>業界研究実習は2年次から具体化する専門分野の一部を実体験し、その分野が自分に向いているかについて、体験をすることにより考える機会とする。</p>	2

4.経営学部経営学科	福本哲也	MNG215-A51	アントレプレナーシップ論	<p>[目的] アントレプレナーシップとは、リスクテイキングを厭わず、能動的に新たな試みに取り組んで行動する「企業家（起業家）」の活動と精神のことをいう。本講義では、今経営者だけでなく、経済社会を構成する全てのプレイヤーに必要なアントレプレナーシップを学ぶ。そして、職業選択の一つとして、起業があることを理解し、また、自分たちが起業家になることが可能であることを知っていく。</p> <p>[概要] 本講義では、アントレプレナーシップを実感できる事例紹介・人物紹介を交えながら、できるだけ分かり易く説明を行う。また、講義では単なる座学に終わることなく、アントレプレナーシップを自身のキャリア形成の指針にまで高めるため、ほぼ毎回、個ワークまたグループワークを行い、実践的でメリハリのついた学習ができるようになっている。</p> <p>なお、講義内容を次週までに公開するので、予習として読み込んでくる必要があるのと同時に、毎回、パソコンを利用して個ワーク、グループワーク、情報収集や報告を行うので、必ず持参すること。</p>	2
4.経営学部経営学科	福本哲也	MRK101-A01	マーケティング	<p>[目的] 本講義では、マーケティングの基礎理論、特にマーケティングの視点を体得することを目的としている。マーケティングは、様々な製品やサービス、そして企業戦略の重要な指針であり、活動であり、今後の様々な学修に大きく影響する。</p> <p>[概要] 本講義では、マーケティング理論を実感できる事例紹介を交えながら、できるだけ分かり易く説明を行う。また、講義では単なる座学に終わることなく、マーケティングを実際に使える技術にまで高めるため、ほぼ毎回、個ワークまたグループワークを行い、実践的でメリハリのついた学習ができるようになっている。</p> <p>なお、講義内容を次週までに公開するので、予習として読み込んでくる必要があるのと同時に、毎回、パソコンを利用して個ワーク、グループワーク、情報収集や報告を行うので、必ず持参すること。</p>	4

4.経営学部経営学科	福本哲也	MRK201-A51	マーケティングリサーチ	<p>[目的] 本講義では、マーケティングリサーチの基礎理論、特にマーケティング全般視点からのリサーチの意味を理解しそのリサーチ手法を学ぶことを目的としている。マーケティングリサーチは、様々な製品やサービス、そして企業戦略の重要な戦略、指針づくりのための情報収集と分析活動であり、今後の様々な機会に大きく影響する。</p> <p>[概要] 本講義では、マーケティングリサーチ理論を実感できる事例紹介を交えながら、できるだけ分かり易く説明を行う。また、講義では単なる座学に終わることなく、マーケティングリサーチを実際に使える技術にまで高めるため、ほぼ毎回、個ワークまたグループワークを行い、実践的でメリハリのついた学習ができるようになっている。</p> <p>なお、講義内容を次週までに公開するので、予習として読み込んでくる必要があるのと同時に、毎回、パソコンを利用して個ワーク、グループワーク、情報収集や報告を行うので、必ず持参すること。</p>	2
4.経営学部経営学科	福本哲也	MRK305-A51	インターネットマーケティング	<p>[目的] 本講義では、マーケティングの基礎理論をベースに、インターネット環境の急速な進展に伴い激変するマーケティング技術を学ぶ。特にインターネットにより高度化したリサーチ手法、戦術立案視点の「4P」の視点を中心に、授業を構成する。インターネット活用はマーケティング技術の高度化・効率化・精度向上との相性も非常に高く、様々な製品やサービス、そして企業戦略立案の重要な手法となる。その理解は今後の様々な学修に大きく影響する。</p> <p>[概要] 本講義では、インターネットマーケティング理論を実感できる事例紹介を交えながら、できるだけ分かり易く説明を行う。また、講義では単なる座学に終わることなく、マーケティングを実際に使える技術にまで高めるため、ほぼ毎回、個ワークまたグループワークを行い、実践的でメリハリのついた学習ができるようになっている。</p> <p>なお、講義内容を次週までに公開するので、予習として読み込んでくる必要があるのと同時に、毎回、パソコンを利用して個ワーク、グループワーク、情報収集や報告を行うので、必ず持参すること。</p>	2

4.経営学部経営学科	福本哲也	SMN304-A52	マネジメント専門演習	<p>[目的] 本演習では、マーケティングの基礎理論をベースに、論理的な思考を習得し、4年次での卒業研究につながる準備を行うことを目的としている。マーケティングは、様々な製品やサービス、そして企業戦略の重要な指針、活動であり、卒業研究の大きな支えになる。</p> <p>[概要] 本演習では、前半でマーケティング理論を実感できる事例紹介を行い、その後各自の興味のある業界や領域を探っていく。その後、各自卒業研究のテーマを想定し、グループワークより一層強い研究テーマに仕上げていく。後半はそのテーマを研究するための情報収集を始めていく。そして4年次につなげていく。</p> <p>なお、毎回、パソコンを利用して個ワーク、グループワーク、情報収集や報告を行うので、必ず持参すること。</p>	2
4.経営学部経営学科	福本哲也	SMN307-A02	プロジェクトマネジメント演習Ⅳ	<p>[目的] 本演習では、マーケティングの基礎理論を再び学び、特にマーケティングの視点を改めて体得することを目的としている。マーケティングは、様々な製品やサービス、そして企業戦略の重要な指針であり、活動であり、今後の自身のキャリア育成に大きく影響する。本演習では特に自身の興味のある業界、領域を発見し、深く情報収集、観察し分析する機会としたい。</p> <p>[概要] 本演習では、マーケティング理論を実感できる事例紹介を交えながら、できるだけ分かり易く説明を行う。また、演習ではマーケティングを実際に使える技術にまで高めるため、ほぼ毎回、個ワークまたグループワーク、フィールドワークを行い、実践的でメリハリのついた学習ができるようになっている。</p> <p>なお、講義内容を次週までに公開するので、予習として読み込んでくる必要があるのと同時に、毎回、パソコンを利用して個ワーク、グループワーク、情報収集や報告を行うので、必ず持参すること。</p>	4

4.経営学部経営学科	松田忠喜	PED402-M01	特別活動の指導法	<p>【目的】 特別活動は、小・中・高・特別支援学校の教育課程に位置付く教育活動です。したがって、学校現場では、自分が担当する教科に関わらず、すべての教師が特別活動の指導にあたることになります。</p> <p>そこで、本授業では、特別活動の教育的意義や目標・内容、指導法や評価の在り方等について理解し、実践的な指導力を身に付けるとともに、学びを今後の自己の生き方に生かすことができるようにします。</p> <p>【概要】 近年、情報化・少子高齢化など急速な社会変化の中で、人間関係の希薄化が進み、子どもたちの自主性、社会性などを身に付ける機会が激減しています。そこで、多様な集団活動や体験活動を通して「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を育成する資質・能力の三つの視点とする特別活動の果たす重要な役割を追究します。</p> <p>本授業では、新学習指導要領に基づいて授業を行います。一方的な講義ではなく、3分間スピーチをはじめ、ともに考え・話し合う場や実際に学級会を行う実践的な活動など学生側の自主的、主体的な活動を織り交ぜながら、特別活動の指導法を身に付けていきます。</p>	2
4.経営学部経営学科	村田昌彦	MNG305-M01	セーフティマネジメント論	<p>具体的な各種の危機事案対応などを通じて、「地域防災減災論」で学んだ防災・減災についての体系的な知識をさらに深め、災害をイメージする力をより高めることにより、様々な危機に対する事前対策、予防、対応など、社会のいかなる分野においても有効となる安全・安心を担保する力を身につける。</p>	2
4.経営学部経営学科	村田昌彦	RSM301-M51	企業危機管理論	<p>【本授業では、企業防災を行うための防災教育を主眼とする】 大災害において企業に対する被害を最小限にとどめ、企業活動を迅速に再開し、企業を存続させるために必用となる、災害への備え、災害後の対応についての知識や対処法を、過去の災害における企業対応の成功・失敗事例などから学ぶ。</p>	2

4.経営学部経営学科	川脇康生	REG202-M51	公共サービス論	<p>本授業は、公共サービスについての理論と実践を学ぶことを目的にしています。</p> <p>まず公共の定義を行い、公共を担うさまざまなプレーヤー（国・地方自治体、非営利組織、営利組織、社会的企業など）について、それぞれの社会的役割を詳しく解説します。特に私たちが認識を新たにしなければならないことは、国・地方自治体だけでなく、民間組織や私たち一人ひとりも公共経営の一翼を担っているということです。当事者意識をもって私たちが公共経営に携わらなければならないことは、世界的潮流といていいでしょう。それに加えて、そうならざるを得ない日本特有の事情もあります。それは継続的な景気の悪化により日本が長らく苦しんできた財政赤字の存在です。社会問題を解決するには多くの財政支出を必要とするからです。それだけではありません。国・地方自治体と民間組織が一丸となって、社会問題の解決に挑まなければならないほど、日本の社会問題は多岐にわたり複雑化しています。このような状況下であり、私たちは公共をどうやって経営したらいいのでしょうか。</p> <p>私たちが公共経営をより有効的かつ効率的に運営するための手法について学びます。</p>	2
4.経営学部経営学科	本田あけみ	BRI203-A01	ビューティビジネス論	<p>授業の目的</p> <p>9兆円と推定されるビューティビジネスの市場規模（ビューティサロンビジネス、コスメティックビジネス、ブライダルビジネス）における美容業界について理解するとともに、その1/3を占める、ヘア・メイク・ネイル・エステ等のビューティビジネスについてサロン経営の視点から解明する。</p> <p>授業の概要</p> <p>ビューティビジネスの視点からビューティの各分野における専門的なビジネス内容及び技術者評価指標としての各種免許制度・検定制度、および人材育成について理解する。</p> <p>また、日本以外のビューティビジネス事情を知ることによって自分と異なる他の価値観を学ぶ。</p>	2
4.経営学部経営学科	村田昌彦	REG305-M01	コミュニティ防災	<p>大災害に際してきわめて重要となる自助・共助について、実際の災害事例などを通じて理解し、地域コミュニティの一員として災害に事前に備え、災害発生時には迅速的確な対応を、自ら率先して行える力を身につける。</p>	2
4.経営学部経営学科 単位数合計					58
5.国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション	伊藤創	JPE101-Y01	日本語の構造Ⅰ	<p>本講義では、日本語の構造、体系を、様々な観点から捉え直すことによって、日本語(ひいては言語そのもの)に対する知識を深め、また柔軟で論理的な思考を養うことを目的とする。特に、日本語が話せない外国人の視点から見た日本語とはどのようなものなのか、つまり「外国語としての日本語」の特徴を理解することを目的とする。</p>	2

5.国際コミュニケーション学部	伊藤創	JPE201-Y01	日本語教育事情	本講義では以下の項目を学ぶ。■日本語がどのように教えられているのか、あるいは教えられてきたのか、日本語教育の現在の状況と歴史について学ぶ。■現在の日本にいる留学生や外国人労働者がどのような状況にあるのか、その実情と彼らが(ひいては日本が)抱える課題について学ぶ。■上記と関連して、そもそも、どのようにして日本語が今のような形になったのか、その成り立ちや日本語位置づけなどについても学ぶ。	2
5.国際コミュニケーション学部	片山真理	EDE202-Y81	英語科教育法Ⅱ	【目的】 英語科指導に必要な知識を身につけ、実際の指導現場で用いることを考えられるようになる。また、様々な指導法の長所・短所とその改善点について考えられるようになる。 【概要】 四技能および発音、文法、語彙などの指導法に関する従来型の問題点を指摘し、これを改善するための指導法について、グループでの議論(内容によって日本語または英語)を通して考えます。	2
5.国際コミュニケーション学部	越山泰子	JPE202-Y51	日本語コミュニケーション	(目的) この授業では、日本語を外国語として効果的に指導するために、日本語を取り巻く社会的言語活動やコミュニケーションの方法について学習します。 (概要) 講義を通して様々な言語研究を参照し、言語使用とコミュニケーションについての基礎知識を用いながらグループワークを通して日本語の特徴について客観的に考え、身近な「日本語らしい」言語現象について解明していきます。	2
5.国際コミュニケーション学部	越山泰子	JPE303-Y01	日本語教授法	(目的) この授業では、外国語として日本語を教えるための基礎知識について学びます。 (概要) 日本語の特徴を理解しながら、教案の組み立て方、授業の流れ、教材分析を通して、ことばを効果的に教える方法を学びます。	2
5.国際コミュニケーション学部	越山泰子	JPE304-Y51	日本語教育の実践と評価	(目的) この授業では、外国語としての日本語教育における実践と評価の方法について学習します。 (概要) 日本語の様々な特徴、評価法における実例を参照しながら、日本語教育の実践と評価に関する基礎知識を養います。	2
5.国際コミュニケーション学部	越山泰子	SVL203-Y01	サービスラーニングⅡ	(目的) このクラスでは、日本語を外国語として教える知識や教え方について学ぶ。 (概要) 地域で日本語を学ぶ外国人の日本語学習支援を行う。授業や活動を通して、異文化への理解や地域社会への貢献についての学びを深める。	2

5.国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション	片山真理	EDE203-Y51	英語科教育法Ⅲ	<p>This course is for those who are seeking for teaching job after graduation. This course examines successful foreign language education; how foreign languages are taught and learned in the world. Various teaching methods which have been used around the world.</p> <p>本科目は、将来教職に就く人を対象とする。日本国内外での外国語教育（特に英語教育）の状況や指導法について学び、指導計画・授業計画の立て方などについて学ぶ。</p>	2
5.国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション	横山雅彦	RED113-Y02	リーディング1	<p>高度な英語の4技能習得のための基礎（OS）となる英文法の体系的・構造的理解を図り、それを英文読解で実践する。</p>	2
5.国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション	横山雅彦	RED114-Y52	リーディング2	<p>英語で日米比較文化論を読む。1冊を読み切ったという自信をつけると同時に、日本語と英語、それぞれの背後にある「心の習慣」を考え、2年生以降のGRへの橋渡しとする。</p>	2
5.国際コミュニケーション学部 単位数合計					20
6.国際コミュニケーション学部観光学科	小林弘二	TOU210-Y01	旅行産業論	<p>【概要】 授業では、まず、旅行事業を取り巻く環境を左右する国の役割（観光政策）、地域の観光振興を担う自治体の役割についての理解を深めるところから始める。そして、国や自治体による観光事業の基盤整備を踏まえ、観光集客事業を担うそれぞれの事業の役割、機能、集客への取組み等について学ぶことになる。具体的には、旅行業、宿泊業、航空事業、テーマパーク等の観光施設について、個別にその事業特性や課題の抽出、課題解決に向けた取組み等について学ぶ。</p> <p>【目的】 この授業では、国の観光政策や地域の観光振興を担う自治体の役割等を踏まえ、観光立国実現に向けて観光・旅行事業の現状分析、課題の発見、課題解決に向けて今後どうあるべきなのか等について理解を深め、自ら論じることが出来るようになることを目的とする。</p>	2

6.国際コミ学部観光学科	小林弘二	TOU222-Y01	観光交通システム論	<p>【概要】 観光は、観光客（観光主体）が観光地や施設（観光客体）を訪問する行動であり、その行動を助長、促進する交通や観光情報（観光媒体）によって構成されている。また、観光地は観光客の移動にそって演出される。見る場所や位置によってその観光素材は変化し、同じ景色でもバスと電車の車窓からでは結果的に違う景観を見せる「場を提供する」という役割も持っている。 さらに、交通は、乗り物自体が観光資源としての役割を演じるケースも多くみられる。 このように観光における交通には、単に移動手段としての役割のほか、観光地の魅力向上の仕掛けとしての役割を持つ観光には欠かせない要素になっている。 この授業では交通産業を観光と連携した視点から学ぶ。</p> <p>【目的】 この授業では交通と観光の密接な関係性や相互に及ぼしあう影響や効果を十分に理解し、地域社会での課題解決と交通機関が果たす役割や創造的価値を学ぶことを目的とする。</p>	2
6.国際コミ学部観光学科	小林弘二	TOU327-Y01	トラベルエージェント論	<p>【概要】 旅行関連ビジネスには、一般的に宿泊ビジネス、旅行業ビジネス、交通ビジネス、娯楽ビジネス、料飲ビジネス、土産物ビジネス等があり、前の3つが基幹的旅行ビジネス、後の3つ等が付随的旅行ビジネスと呼ばれている。授業では、旅行ビジネスの中核的役割を担っている旅行業（トラベルエージェント）のビジネスについて、その仕組みや役割、ビジネスモデルについて、市場環境変化を踏まえて時系列に分析し学ぶ。</p> <p>【目的】 観光立国実現に向けて、旅行需要の地域分散化（オーバーツーリズムの改善）、旅行サービスの品質管理という課題が挙げられている。このような課題を解決に向けて、今後、日本の旅行業者（トラベルエージェント）に求められる機能や役割について、地域との関り、新たなビジネスモデルの構築など、授業の学びを通じて理解を深めて行くことを目的とする。</p>	2
6.国際コミ学部観光学科	寺井太郎	BSS206-Y01	ビジネスモデル・デザイン	<p>目的：ビジネスモデルとは何か？その意味を理解し、フレームワークを活用してビジネスモデルを読み解き、改善し、新たに構築する力を身に付けます</p> <p>概要：ビジネスモデルは、大きく「コンセプト」「事業戦略」「スキーム」「収支」によって語られます。それぞれの要素について、皆さんの身近なビジネス・サービス・商品の実例を用いながら、グループワークなどの演習を交えて具体的に理解を深めます。また、世の中の主なビジネスモデルについて、その内容を具体例を交えて解説していきます。</p>	2

6.国際コミ学部観光学科	寺井太郎	BSS208-Y51	イノベーション論	<p>【目的】 Innovationという言葉は、J.A.シュンペーターが著書「経済発展の理論」の中で提唱した経済発展論の中心的な概念で、直訳すると「革新」や「刷新」という意味を持ちます。労働、土地などの生産要素の組合せを変化させたり、新たな生産要素を導入したりする企業家の行為を指します。生産技術の変化だけでなく、新市場や新製品の開発、新資源の獲得、生産組織の改革あるいは新制度の導入なども含まれるとされています。シュンペーターはイノベーションにより投資需要や消費需要が刺激され、経済の新たな好況局面が作りだされ、経済発展の最も主導的な要因であるとしています。一方で既存産業に壊滅的な影響を与え、市場構造を一変させる場合もあります。</p> <p>現在では、国際的な経済構造や私たちの社会生活、社会構造にまで大きな影響を与えるものとして認識され、ウイズコロナ、国際関係の緊張・混乱、更に進むグローバル化、それらにともなう価値観の変化など観光産業界をとりまく環境が大きく変動する中、イノベーションを担う人材が求められています。</p> <p>本講義では、イノベーションが生まれる背景要因、構成要素、プロセス、イノベーションがもたらす影響を理解し、さらにイノベーションを起こすための考え方やマネジメントのあり方、イノベーションの阻害要因について考察し、イノベーションを生むためのアプローチとマネジメントに関する知識とスキル、そしてマインドセットを身につけることをめざします。</p> <p>【概要】 授業では、講義に加え、個人ワークとグループ・ディスカッションを組み合わせ繰り返して行い、段階的に理解を深め、スキルを身につけ、革新的なアイデアのプレゼンテーションの実践を目指します。このため、主体的な事前学習により自分の考えを明確化し、それをベースに建設的な議論に積極的に参加することが求</p>	2
6.国際コミ学部観光学科	寺井太郎	BSS305-Y51	ビジネスモデル・アセスメント	<p>目的：ビジネスモデルとは何かを理解し、代表的なビジネスモデルの内容（コンセプト・事業戦略など）を理解して、ビジネスの評価の方法を知ることが目的とします。</p> <p>概要：ビジネスモデルとは、「コンセプト、事業戦略、スキーム、収支」の4つの要素で説明されます。この講義では、それらの要素の意味を理解するとともに、代表的なビジネスモデルを学びます。</p> <p>【ご注意】 講義前半の「ビジネスモデルの要素理解」の部分は、2023年春学期に開講した「ビジネスモデル・デザイン」と一部内容が重複します。2023年春学期の「ビジネスモデル・デザイン」を履修済みの場合、講義前半はその復習となることを理解したうえで履修してください。</p>	2

6.国際コミ学部観光学科	寺井太郎	CC1201-Y51	観光マーケティング基礎	<p>目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身近な題材を用いた実践的なワークを通じて、マーケティングの視点を体得する 2. 自らのキャリアも含め、世の中で起こっていることをマーケティング視点で考える習慣を付ける 3. マーケティングに対する興味・関心を高め、受講後も学習を継続する動機付けとする <p>概要：</p> <p>10年前までのユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）は、来場者が思うように集まらず、経営破綻の危機に陥っていました。それが今や、日本を、いや世界を代表する一大テーマパークとして、たくさんの来場者で賑わっています。そのUSJの危機を救ったのが、「マーケティング」の力なのです。</p> <p>この講義では、USJの奇跡の復活など、今まさに起こっていること、これから起こることを、マーケティングの視点で体感し理解します。授業では、テーマパークの新アトラクション企画など、学生の皆さんが具体的にイメージしやすい、身近で親しみのある題材を多用します。</p>	2
6.国際コミ学部観光学科	寺井太郎	MRK202-Y01	マーケットリサーチ	<p>目的：ビジネスの戦略立案→実行→検証のためには、「消費者の声に耳を傾ける」ことが必須です。この科目は、さまざまな手法を用いて消費者の声を客観的に収集・分析できるようになることを目的とします。</p> <p>概要：戦略の成功のために必須となるマーケットリサーチの目的とやり方を、具体例に基づいて実践しながら習得します。数字やエクセル関数が苦手な方も、ご安心ください。数字をいじることが目的ではなく、ビジネスを成功させるためのマーケットリサーチの位置づけを理解することを目的として授業を設計しています。授業中、Google Formなどの各種ツールを実際に使用しながら学びますので、毎回ノートPC持参が必須です。</p>	2
6.国際コミ学部観光学科	寺井太郎	TOU212-Y01	サービス・ブランディング	<p>目的：ブランドの強さによって、企業の業績は大きく左右されます。ブランドとは何か？特に、観光産業などサービス業におけるブランドの役割と重要性を理解します。</p> <p>概要：「ブランド」という言葉は誰でも知っていますが、その意味を説明できますか？この授業では、テーマパークやコンビニエンスストアといった身近なサービスを題材としてブランドの意味やその効果を学びます。加えて、観光産業において重要な要素である「地域のブランド」を設計する方法について、グループワークを通じて学習します。</p>	2

6.国際コミ学部観光学科	寺井太郎	TOU221-Y51	M I C E ・ I R 概論	<p>目的：M I C E とは何か、I R とは何かを理解するとともに、そのメリット・デメリットと、日本と世界におけるこれまでと今後を概観します。</p> <p>概要：MICE(Meeting, Incentive, Convention, Exhibition / Event)、IR(Integrated Resort)は、ともにこれからの社会・観光ビジネスを語るうえで、もっとも重要な概念と言えます。オリンピックを含むスポーツイベント、万博などの博覧会、日々各地で行われている展示会など、具体例を用いてM I C E のメリット・デメリットを理解します。</p> <p>後半のグループワークでは、I R について、大阪府・市が候補地として立候補している大阪 I R 計画について研究し理解を深めます。</p>	2
6.国際コミ学部観光学科	寺井太郎	TOU324-Y01	アミューズメントパーク論	<p>目的：ディズニーやUS J などのテーマパークを、経営学的観点から理解し、テーマパーク経営における問題発見と解決策を見出す能力を身につけます。</p> <p>概要：テーマパークの収入は、おもに①入場料、②飲食、③お土産などの物販、で構成されます。どうやってそれぞれの収入を最大化するかについて、例えば「ユニバでいちばん人気のお土産やレストランメニューを企画してみよう！」といった実践的なワークを通じて、深く考察していきます。履修後には、テーマパークの収入・コスト・リスクなどについて、経営的な視点から批判し解決策を提案できるようになります。</p>	2
6.国際コミ学部観光学科	松村博之	TOU223-Y51	旅行業演習 I	<p>【目的】</p> <p>「国内旅行業務取扱管理者」の国家資格取得を目的とします。</p> <p>この資格は、観光業界、公務員を目指すものにとって有利なものです。</p> <p>国家試験は、毎年9月に実施されます。</p> <p>特に観光業界に就職を目指すスキルとして修得することが重要な科目です。</p> <p>【概要】</p> <p>JR運賃・料金、国内航空運賃・料金、貸切バス運賃・料金、フェリー運賃・料金、旅館・ホテルの宿泊料金などに関する解説をします。</p> <p>講義は、教科書に添ってパワーポイントを使用して行います。また、理解度チェックのために、練習問題を毎回してもらいます。計算問題が中心となりますので、予習復習は計画的・継続的に行う必要があります。</p>	2

6.国際コミ学部観光学科	松村博之	TOU224-Y01	旅行業法・旅行業約款特別演習	<p>【目的】 「国内旅行業務取扱管理者」の国家資格取得とします。 この資格は、観光業界、公務員を目指すものにとって有利なものです。 国家試験は、毎年9月に実施されます。 旅行業約款は、旅行者と旅行者との取り決めであり、ほとんどの旅行者は標準 運送約款を基本としています。</p> <p>【概要】 この約款のポイントとなる「募集型企画旅行契約」「受注型企画旅行契約」「手配 旅行契約」の旅行形態を確認し、取扱いの違いを理解することが重要です。 また、「国内旅客運送約款」では航空券・運賃及び料金・手荷物・責任など、「一 般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款」、「フェリー運送標準約款」、「宿泊約 款」では契約の成立・解除権などについて理解することがポイントです。 講義は、教科書に添ってパワーポイントを使用して行います。</p>	2
6.国際コミ学部観光学科	松村博之	TOU328-Y01	旅行業演習Ⅱ	<p>【目的】 「国内旅行業務取扱管理者」の国家資格取得とします。 この資格は、観光業界、公務員を目指すものにとって有利なものです。 国家試験は、毎年9月に実施されます。 旅行業務にかかわる取引の公正の維持、旅行の安全確保、旅行者の利便増進につな がるものとして制定された法制度とそれらを遂行するための各ルールがどのよう なものであるかを理解するものです。</p> <p>【概要】 講義は、教科書に添ってパワーポイントを使用して行います。また、毎回理解度 チェックのための 練習問題をしてもらいます。 従って、予習復習は計画的・継続的にする必要があります。</p>	2
6.国際コミ学部観光学科	横山雅彦	WRT114-Y01	ライティング2	<p>高度な英語の4技能習得のための基礎（OS）となる英文法の体系的・構造的 理解を 図り、それを英文読解で実践する。</p>	2

6.国際コミ学部観光学科	李容淑	TOU209-Y51	インバウンドツーリズム産業論	<p>インバウンドツーリズムとは何か、日本経済におけるインバウンドツーリズムの重要性を理解し、インバウンドツーリズム産業全体を経営学視点において把握をする。インバウンドツーリズムは、成長著しいアジアをはじめとする世界の需要を取り込むことによって、人口減少・少子高齢化が進展する日本において、交流人口の拡大によって地域の活力を維持し、社会を発展させることに大きく貢献する。また、インバウンドツーリズム産業の核となる旅行業、宿泊業、輸送業、航空・空港業、お土産販売業、フードビジネス業等について、マクロ視点から、それぞれの業界の特徴と問題点の考察した上で、個々の企業をミクロ的な問題をとりあげ、その企業経営のあり方や、将来展望を模索するものとする。インバウンド観光産業は毎年成長し、2019年には訪日外国人旅行者が3,188万人を突破し、消費額は4兆6千億円にも到達して、毎年最高記録を立てている。特に2021年、東京オリンピックを越え関西地域には、2025年の世界万博の開催が大阪地域に誘致する計画を控えている。</p> <p>ところが、最近世界に拡散するCOVID-19の影響で観光産業が大打撃を受けている中、この危機を乗り越えて、ポストコロナに対応する新戦略への大転換の必要である。その時代に合わせた専門知識を持つ人材が必要であろう。</p> <p>この講義では日本政府が主導する日本の未来を支える重要国家産業として専門教育戦略に従う『インバウンド主任者実務認定試験』を目指して徹底的な授業を実施します。</p>	2
--------------	-----	------------	----------------	---	---

6.国際コミ学部観光学科	李容淑	TOU215-Y51	インバウンド・ツーリズム産業論	<p>インバウンドツーリズムとは何か、日本経済におけるインバウンドツーリズムの重要性を理解し、インバウンドツーリズム産業全体を経営学視点において把握をする。インバウンドツーリズムは、成長著しいアジアをはじめとする世界の需要を取り込むことによって、人口減少・少子高齢化が進展する日本において、交流人口の拡大によって地域の活力を維持し、社会を発展させることに大きく貢献する。また、インバウンドツーリズム産業の核となる旅行業、宿泊業、輸送業、航空・空港業、お土産販売業、フードビジネス業等について、マクロ視点から、それぞれの業界の特徴と問題点の考察した上で、個々の企業をミクロ的な問題をとりあげ、その企業経営のあり方や、将来展望を模索するものとする。インバウンド観光産業は毎年成長し、2019年には訪日外国人旅行者が3,188万人を突破し、消費額は4兆6千億円にも到達して、毎年最高記録を立てている。特に2021年、東京オリンピックを越え関西地域には、2025年の世界万博の開催が大阪地域に誘致する計画を控えている。</p> <p>ところが、最近世界に拡散するCOVID-19の影響で観光産業が大打撃を受けている中、この危機を乗り越えて、ポストコロナに対応する新戦略への大転換の必要である。その時代に合わせた専門知識を持つ人材が必要であろう。</p> <p>この講義では日本政府が主導する日本の未来を支える重要国家産業として専門教育戦略に従う『インバウンド主任者実務認定試験』を目指して徹底的な授業を実施します。</p>	2
6国際コミ学部観光学科 単位数合計					34
7.心理学部心理学科	有吉美恵	SVL101-Y10	サービスマーケティングA（心・商店街	<p>【目的】近年、商店街の若者離れが進んでおり大きな社会問題として認識されている。人が商業施設に惹かれるしぐみを産業・消費者心理学の観点から捉え改善案の手がかりをつかむことを目的とする。</p> <p>【概要】SNSの有用性を用いて商店街の魅力を発信し若者にアピール可能な商店街の在り方を考察する。（商店街への自転車乗り入れ行為の抑制も含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①SNS含むICT利用の有用性と危険性について学習する ②元町商店街に訪問し実態調査を行う ③元町商店街に関する情報（魅力を感じる画像など）の収集？ ④若年層に対するSNSツールの選定及び情報発信の準備 ⑤振り返りの実施 ⑥経験学習発表会への参加 	1

7.心理学部心理学科	大松光寿	CRI101-Y01	犯罪学概論	<p>【目的】この科目は、最広義の犯罪学（刑事学）の学びとして、犯罪情勢や警察が行う各種取り組み内容を理解することを目的とします。</p> <p>【概要】具体的には、犯罪情勢の把握と各種犯罪の問題点や対策について、刑事、生活安全、地域部門に重点をおいた警察活動を通じて学びます。</p>	2
7.心理学部心理学科	大松光寿	CRI304-Y51	犯罪関連法論	<p>【目的】この科目は、刑法及び刑事訴訟法を中心とした犯罪への対処実態を理解し身につけることを目的とします。</p> <p>【概要】刑法については、犯罪と刑罰に関する共通ルールである刑法総論を中心として、また、刑事訴訟法については、犯罪の捜査、裁判の手続きなど刑罰法令の適用・実現に必要な手続きについて学びます。また、近時問題となっている特殊詐欺や暴力団対策等に関する法令などについても学修します。</p>	4
7.心理学部心理学科	大松光寿	SMN201-Y10	専門演習Ⅰ	<p>【目的】事件・事故を題材としたグループ討議やプレゼンテーションを通じて、専門分野の情報収集力やコミュニケーション能力を身につけることを目的とします。</p> <p>【概要】具体的には、班別に指定されたテーマ（事件・事故）について、事実関係や背景事情、内在する問題点等について調査・検討したのちにプレゼンを行い、討議することにより専門的知識を学修します。</p>	2
7.心理学部心理学科	大松光寿	SMN202-Y56	専門演習Ⅱ	<p>【目的】事件・事故を題材としたグループ討議やプレゼンテーションを通じて、専門分野の情報収集力やコミュニケーション能力を身につけることを目的とします。</p> <p>【概要】具体的には、班別に事件・事故に関するテーマを自由に選定し、事実関係や背景事情、内在する問題点等について調査・検討したのちにプレゼンを行い、討議することにより専門的知識を学修します。</p>	2

7.心理学部心理学科	大松光寿	SVL101-Y09	サービスマーケティングA（高齢者特殊）	<p>【目的】社会問題化している特殊詐欺被害者の大半を占める高齢者に焦点を当て、防犯寸劇を披露して被害防止に資することを目的とします。</p> <p>【概要】実際の被害事例を学び、専門家の指導を受けて、防犯寸劇を制作・実演し、防犯啓発に役立つ活動を行います。</p> <p>①特殊詐欺の発生実態等を各種情報検索により把握する ②県警担当官を招致して実態調査を行う ③高齢者の心に届く寸劇・紙芝居等の制作を行う</p> <p>④神戸市内の高齢者向け防犯教室において、寸劇等の実演を行う ⑤振り返りの実施 ⑥経験学習発表会への参加</p>	1
7.心理学部心理学科	大松光寿	SVL103-Y16	サービスマーケティングB（高齢者特殊）	<p>【目的】社会問題化している特殊詐欺被害者の大半を占める高齢者に焦点を当て、防犯寸劇を披露して被害防止に資することを目的とします。</p> <p>【概要】実際の被害事例を学び、専門家の指導を受けて、防犯寸劇を制作・実演し、防犯啓発に役立つ活動を行います。</p> <p>①特殊詐欺の発生実態等を各種情報検索により把握する ②県警担当官を招致して実態調査を行う ③高齢者の心に届く寸劇・紙芝居等の制作を行う</p> <p>④神戸市内の高齢者向け防犯教室において、寸劇等の実演を行う ⑤振り返りの実施 ⑥経験学習発表会への参加</p>	2

7.心理学部心理学科	川脇康生	SPS902-Y52	特別研究Ⅱ（公共サービス論）	<p>本授業は、公共サービスについての理論と実践を学ぶことを目的としています。 まず公共の定義を行い、公共を担うさまざまなプレーヤー（国・地方自治体、非営利組織、営利組織、社会的企業など）について、それぞれの社会的役割を詳しく解説します。特に私たちが認識を新たにしなければならないことは、国・地方自治体だけでなく、民間組織や私たち一人ひとりも公共経営の一翼を担っているということです。当事者意識をもって私たちが公共経営に携わらなければならないことは、世界的潮流とっていいでしょう。それに加えて、そうならざるを得ない日本特有の事情もあります。それは継続的な景気の悪化により日本が長らく苦しんできた財政赤字の存在です。社会問題を解決するには多くの財政支出を必要とするからです。それだけではありません。国・地方自治体と民間組織が一丸となって、社会問題の解決に挑まなければならないほど、日本の社会問題は多岐にわたり複雑化しています。このような状況下であり、私たちは公共をどうやって経営したらいいのでしょうか。 私たちが公共経営をより有効的かつ効率的に運営するための手法について学びます。</p>	2
7.心理学部心理学科	田中亜裕子	CLI101-Y51	臨床心理学概論Ⅰ	<p>【目的】 この科目は臨床心理学に関する基本的な知識を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 臨床心理学の全体構造を把握し、臨床心理学の歴史について知る。そしてカウンセリング、アセスメントの基礎について学ぶ。さらに「心の病」や自傷等について考える機会をもつ。これらのことを通して、臨床心理学全般についての基礎的な事柄について学ぶことを目的とする。</p>	2
7.心理学部心理学科	田中亜裕子	CLI208-Y51	臨床心理学概論	<p>【目的】 この科目は臨床心理学に関する基本的な知識を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 臨床心理学の全体構造を把握し、臨床心理学の歴史について知る。そしてカウンセリング、アセスメントの基礎について学ぶ。さらに「心の病」や自傷等について考える機会をもつ。これらのことを通して、臨床心理学全般についての基礎的な事柄について学ぶことを目的とする。</p>	4

7.心理学部心理学科	高橋浩樹	RSM202-Y51	危機管理論	<p>目的：将来企業人等として活動する際のリスクマネジメントを習得します。さらに日常生活に近接している消費者犯罪を捉え、消費者としての安全の確保策を学び、安全安心な学生生活、社会生活を送ることが出来る知識（セーフティーマネジメント力）の習得を目的としています。</p> <p>概要：危機管理に関する歴史、現状、理論、学生それぞれが一消費者として陥りやすい消費者犯罪についてその手口、被害防止策を学びます。</p>	2
7.心理学部心理学科	高橋浩樹	RSM307-Y01	サイバーセキュリティ論Ⅰ	<p>目的：情報収集、分析力を身に付け、データに基づく論理的思考力を養うことを目標とします。</p> <p>現代社会において必要とされるサイバーセキュリティに関する知識を習得し、サイバーリスクマネジメント力を養成すること目的としています。</p> <p>概要：現代社会がおかれている「サイバー空間の脅威」を正しく認識し、そのリスク軽減を図るため、サイバー犯罪の手口やその対策、法制度に関する知識を習得します。</p>	2
7.心理学部心理学科	高橋浩樹	RSM308-Y51	サイバーセキュリティ論Ⅱ	<p>目的：情報収集、分析力を身に付け、データに基づく論理的思考力を養うことを目標とします。</p> <p>現代社会において必要とされるサイバーセキュリティに関する知識を習得し、サイバーリスクマネジメント力を養成すること目的としています。</p> <p>概要：実際のサイバー犯罪捜査の方法等を学ぶとともに、企業の対策や取組、制度を学び社会生活に求められるサイバーセキュリティの知識を習得し、サイバーセキュリティ意識の向上を目指します。</p>	2
7.心理学部心理学科	高橋浩樹	SMN201-Y11	専門演習Ⅰ	<p>目的：社会的耳目を集めた事件や事故、ネット空間における問題点等を題材として、情報の収集と分析、グループ討議、プレゼンテーションを通して、物事、自己の主張を他者に正しく伝えるスキルを身に付けることを目的とします。</p> <p>概要：各班においてテーマを選定し、情報検索、グループ討議（問題点、再発防止策等）、発表案（プレゼン資料、読み原稿等）の作成及び発表を行います。</p> <p>※各回ノートパソコンを持参して下さい。</p> <p>初回にグループ分けを実施しますので、必ず出席して下さい。</p>	2

7.心理学部心理学科	高橋浩樹	SMN202-Y57	専門演習Ⅱ	<p>目的：社会的耳目を集めた事件や事故、ネット空間における問題点等を題材として、情報の収集と分析、グループ討議、プレゼンテーション、レポートの作成を通して、物事、自己の主張を他者に正しく表現し、伝えるスキルを身に付けることを目的とします。</p> <p>概要：各班においてテーマを選定し、情報検索、発表案（プレゼン資料、読み原稿等）、レポートの作成及び発表を行います。</p> <p>※各回ノートパソコンを持参して下さい 初回にグループ分けを実施しますので、必ず出席してください。</p>	2
7.心理学部心理学科	高橋浩樹	SMN301-Y08	専門演習Ⅲ	<p>目的：卒業研究に向けて、テーマ設定のための必要な基礎知識と技能を身に付けることを目的とします。また就職活動に向けて具体的な準備を進めます。</p> <p>概要：研究テーマの選び方と資料の探し方を会得し、テーマに沿った先行論文等を要約します。</p> <p>また就職活動に向けて基本となる自己PR文のモデルを作成します。面接練習を行うとともに本番に向けた想定問答を作成します。</p>	2
7.心理学部心理学科	高橋浩樹	SMN303-Y59	専門演習Ⅳ	<p>目的：卒業研究に向けて、テーマ設定のための必要な基礎知識と技能を身に付けることを目的とします。また就職活動に向けて具体的な準備を進めます。</p> <p>概要：研究テーマの設定し、研究計画書を作成します。</p> <p>また就職活動に向けて実施スキルを身に付けるため、専門演習Ⅲに続いて面接練習を行い想定問答をより良いものにします。</p>	2
7.心理学部心理学科	高橋浩樹	SVL101-Y08	サービスマーケティングA（INT安全安	<p>【目的】日々巧妙化するサイバー犯罪に焦点を当て、その被害防止対策のための落語等を実施して広報啓発、地域貢献を行うことを目的とします。</p> <p>【概要】実際の被害事例を学び、専門家の指導を受けて、実演による「防犯落語」を神戸市内、県下（2か所）で行います。</p> <p>①犯罪発生実態等を新聞やWebにて把握する ②サイバー企画課から担当官を招致して実態調査を行う ③広く一般に浸透するプレゼンテーションとして寸劇のシナリオ等を作成する？ ④サイバーセキュリティ月間キャンペーン会場において寸劇を実演する ⑤振り返りの実施 ⑥経験学習発表会への参加</p>	1

7.心理学部心理学科	高橋浩樹	SVL103-Y15	サービスラーニングB (INT安全安	<p>【目的】日々巧妙化するサイバー犯罪に焦点を当て、その被害防止対策のための落語等を実施して広報啓発、地域貢献を行うことを目的とします。</p> <p>【概要】実際の被害事例を学び、専門家の指導を受けて、実演による「防犯落語」を神戸市内、県下（2か所）で行います。</p> <p>①犯罪発生実態等を新聞やWebにて把握する ②サイバー企画課から担当官を招致して実態調査を行う ③広く一般に浸透するプレゼンテーションとして寸劇のシナリオ等を作成する？ ④サイバーセキュリティ月間キャンペーン会場において寸劇を実演する ⑤振り返りの実施 ⑥経験学習発表会への参加</p> <p>※ エキスパートコース者はAコース者の指導、補助等への従事となります。</p>	2
7.心理学部心理学科	道免逸子	PSY211-Y51	健康・医療心理学	<p>この講義の目的は、健康増進という課題の中で臨床心理の視点をどのように役立てられるか、自分の考えが持てるようになることである。</p> <p>健康心理学という比較的新しい分野が扱う諸問題を概観し、ストレスとその影響や予防と健康増進の意義について学ぶ。授業の中で、対象者の理解度や状態に応じて、適宜グループワークも実施する。</p>	2
7.心理学部心理学科	道免逸子	SMN201-Y13	専門演習 I	<p>目的：本演習の目的は、興味あるテーマについて探求する楽しさを知ることです。</p> <p>概要：興味関心のあるテーマについて学期の終わりまでにパワポを作成し、プレゼンを実施します。そのプロセスにおいて、以下のことを学びます。論文やサイトの検索、論文を読むこと、論文を要約すること、テーマのまとめ方、jamboardやmindmeister等オンラインツールの使用等。また、教員によるミニ講義を聞いて行うディスカッション等、ゼミ生の希望を取り入れて授業を進めていきます。</p>	2
7.心理学部心理学科	山本喜晴	CLI209-Y51	心理演習	<p>公認心理師としての知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とする。</p> <p>心理に関する支援を要する者等に関するコミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援等の知識及び技能の習得、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び?支援計画の作成、心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ、多職種連携及び?地域連携、公認心理師としての職業倫理及び?法的義務への理解について、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイ）や事例検討等を行い、これらに関する基本的な知識及び技術の修得を目標とする。</p>	4

7.心理学部心理学科	山内愛	SPP201-Y51	スポーツ心理学	<p>【目的】 運動・スポーツおよび健康づくり活動の実践や指導、サポートに関する心理学の基礎を学び、良好なスポーツ活動を推進するための心理学的アプローチに関する知識を理解、習得することを目的とします。</p> <p>【概要】 日常の身体運動はもとより、運動やスポーツは様々な文脈の中で取り組まれていきます。そこでの活動目的は、教育、競技、レクリエーション、健康・医療といったように多岐に渡り、それぞれが抱える課題や問題は異なります。そこで、本講義では、スポーツ心理学の果たす役割について外観した上で、健康スポーツ、競技スポーツ、メンタルトレーニングなどについて学習します。その上で、各人の運動・スポーツ活動に汎化可能な視点を提供しつつ、スポーツ競技場面や健康スポーツに役立つ知識やスキルの習得を目指します。</p>	2
7.心理学部心理学科	山内愛	SPP204-Y51	メンタルトレーニング	<p>【目的】 この科目では、自身の競技場面や指導・サポート場面に活かせるよう、メンタルトレーニングについて、講義と体験的学習を通して理論と技法を学び、身につけることを目的とします。</p> <p>【概要】 スポーツにおけるメンタルトレーニングとは、アスリートをはじめとするスポーツ活動に携わる者が、競技力向上並びに実力発揮の為に必要な心理的スキルを習得することを目的とした、スポーツ心理学の理念に基づく体系的で教育的な活動です。メンタルトレーニングについて体験的な理解を深めると共に、各種技法の習得を目指すため、授業は講義だけでなく、実技、グループワーク、学生同士のディスカッション、プレゼンテーションなど、実践的な学習を多く行います。</p>	2
7.心理学部心理学科	山本真由美	CLI309-Y71	障害者（児）心理学	<p>本科目は、公認心理師（国家資格）養成に必要な25科目の中の必須科目である。</p> <p>【目的】 (1)身体障害、知的障害及びひび精神障害について概説する。 (2)障害者(児)の心理社会的課題と必要な支援について概説する。</p> <p>【概要】 各障害の支援のための制度やそれに関わる様々な機関についての基本的知識と支援の在り方について概説する。</p>	2

7.心理学部心理学科	横川滋章	CLI208-Y01	臨床心理学概論	<p>【目的】 この科目は臨床心理学に関する基本的な知識を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 (横川担当分) 神垣先生の前半を受けて、こころの健康と異常について学び、今日の臨床心理的援助に大きな影響を与えた3つの理論・技法として、力動的心理療法と分類されるS.フロイトから始まる精神分析、C.G.ユングの分析心理学、そしてパーソンセンタード(来談者中心療法)として知られるC.R.ロジャーズの考えを紹介し、臨床心理学への基礎的理解を進めることを目的とする。</p> <p>(田中担当分) 臨床心理学の全体構造を把握し、臨床心理学の歴史について知る。そしてカウンセリング、アセスメントの基礎について学ぶ。さらに「心の病」や自傷等について考える機会をもつ。これらのことを通して、臨床心理学全般についての基礎的な事柄について学ぶことを目的とする。</p>	4
7.心理学部心理学科	横川滋章	CLI213-Y01	臨床心理学概論Ⅱ	<p>【目的】 この科目は臨床心理学に関する基本的な知識を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 こころの健康と異常について学び、今日の臨床心理的援助に大きな影響を与えた3つの理論・技法として、力動的心理療法と分類されるS.フロイトから始まる精神分析、C.G.ユングの分析心理学、そしてパーソンセンタード(来談者中心療法)として知られるC.R.ロジャーズの考えを紹介し、臨床心理学への基礎的理解を進めることを目的とする。</p>	2
7.心理学部心理学科	中山誠	CRI203-Y03	犯罪・災害報道論	<p>この科目で身につける知識・技法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 犯罪・災害の報道が理解できる。 ② マスメディアに関する知識が獲得できる。 ③ マスメディア情報に対する客観的な対応が身に付く。 	2
7.心理学部心理学科					61
8.社会学部社会学科	田中亜裕子	PSY106-Y01	発達心理学	<p>【科目の概要】 この科目では、生涯発達心理学の立場(人間は生涯を通して成長し続けるという立場)から、胎児期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老年期の過程において、各発達期の特徴と援助のあり方を理解することを目的とする。とくに乳幼児期における知能、気質、感情の心理学的理解を通して、子どもの発達支援に必要な知識の習得をねらいとする。</p>	2

8.社会学部社会学科	田中亜裕子	PSY213-Y01	教育・学校心理学	<p>この科目は、教師として活動する際に必要な教育心理学の知識を身に付けることを目的としています。</p> <p>具体的には、教育心理学の意義および課題について考察した上で、知識の獲得過程、学習の動機づけ、学習の転移、個性・個人差と授業、学習指導について学ぶ。そして、教育心理学的なものの方見方・考え方を養った上で、発達を踏まえた学習支援について基本的な考え方を理解する。</p>	2
8.社会学部社会学科	松田忠喜	PED402-Y01	特別活動の指導法	<p>【目的】 特別活動は、小・中・高・特別支援学校の教育課程に位置付く教育活動です。したがって、学校現場では、自分が担当する教科に関わらず、すべての教師が特別活動の指導にあたることになります。</p> <p>そこで、本授業では、特別活動の教育的意義や目標・内容、指導法や評価の在り方等について理解し、実践的な指導力を身に付けるとともに、学びを今後の自己の生き方に生かすことができるようにします。</p> <p>【概要】 近年、情報化・少子高齢化など急速な社会変化の中で、人間関係の希薄化が進み、子どもたちの自主性、社会性などを身に付ける機会が激減しています。そこで、多様な集団活動や体験活動を通して「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を三つの視点とする特別活動の果たす役割を追究します。</p> <p>本授業では、新学習指導要領に基づいて行いますが、一方的な講義ではなく、3分間スピーチをはじめ、ともに考え・話し合う場や実際に学級会を行う実践的な活動など学生側の自主的、主体的な活動を織り交ぜながら、特別活動の指導法を身に付けていきます。</p>	2
8社会学部社会学科	単位数合計				6
単位数総合計					468